

総合戦略効果検証シート 基本目標1

番号	具体的な施策(詳細)	H26基準実績等	単位	H27目標	H27実績	H28目標	H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	R元年度目標値	R元年度実績値	総合評価
基本目標1. 地産外商により安定した雇用を創出する【地産の強化を図る・外商の強化を図る・地産外商の成果を拡大再生産につなげる】														
1	利用権新規設定数	0	件	6	5	6	16	6	10	6	3	6	6	○
2	農地中間管理機構利用数 出し手	5	件	5	4	5	2	5	2	5	2	5	0	△
3	農地中間管理機構利用数 出し手	0.8	ha	1.0	0.7	1.0	1.1	1.0	0.3	1.0	0.2	1.0	0	△
4	農地中間管理機構利用数 受け手	4	件	4	1	4	1	4	2	4	2	4	0	△
5	農地中間管理機構利用数 受け手	2.5	ha	2.5	0.4	2.5	0.6	2.5	0.3	2.5	0.2	2.5	0	△
6	中山間地域等直接支払集落協定締結数	27	集落	21	21	21	21	21	21	21	20	21	20	△
7	中山間地域等直接支払集落協定面積【H29年度見直しにより追加】	-	m ²	-	1,472,419	-	1,514,048	1,534,048	1,534,612	1,544,048	1,515,374	1,549,048	1,520,900	△
8	多面的機能支払対象組織数	1	組織	3	3	4	3	4	4	4	4	4	3	△
9	集落営農組織数	10	組織	11	10	10	10	10	10	10	10	10	11	◎
10	耕作放棄地解消	1	件	1	1	1	1	1	0	1	0	1	0	△
11	耕作放棄地解消	13	a	8	10	8	19	19	19	19	19	19	19	○
12	作業受託面積【H28年度版より⇒移動】	10	ha	12	9	10	12	10	14	10	15.1	10.0	15.9	◎
13	青年就農給付金 夫婦型	0	組	3	0	3	2	3	0	3	0	3	0	△
14	青年就農給付金 単独型	0	名	3	0	6	1	6	1	6	3	6	1	△
15	JAコスモス取扱高 伊野支所 生姜	224,787	千円	220,000	251,668	220,000	284,005	220,000	302,605	250,000	298,157	250,000	311,403	◎
16	JAコスモス取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	7,660	千円	10,000	6,645	10,000	7,315	10,000	4,298	10,000	5,615	10,000	6,023	△
17	JAコスモス取扱高 吾北支所 柚子	22,875	千円	24,000	30,320	25,000	34,429	25,000	29,972	26,000	32,383	27,000	42,643	◎
18	JAコスモス取扱高 吾北支所 わさび	4,802	千円	5,000	4,149	5,000	3,985	5,000	3,994	6,000	2,489	6,000	3,909	△
19	本川きじの販売額	9,178	千円	10,000	11,207	11,810	14,692	12,400	14,919	13,000	14,191	18,600	14,859	△
21	生姜等加工品の販売額	214,000	千円	276,000	345,845	276,000	531,903	346,000	460,000	360,000	-	360,000	-	評価なし
22	お菓子屋さん、女性グループ等売上	100	として	110	120	110	128	110	134	115	137	120	138	◎
23	道の駅出荷協議会の売上【H30年度から追加】	100	として	105	108	105	108	105	109	110	110	110	105	△
24	有害鳥獣捕獲数	2,083	頭(羽)	2,250	2,032	2,910	1,917	3,000	2,065	3,000	1,713	3,000	2,156	△
25	電気柵設置数	52	件	80	23	25	27	25	28	25	39	25	46	◎

番号	具体的な施策(詳細)	H26基準実績等	単位	H27目標	H27実績	H28目標	H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	R元年度目標値	R元年度実績値	総合評価
26	狩猟免許取得補助数	11	件	18	0	16	9	16	10	16	6	16	8	△
27	新規就農者数	8	人	9	1	5	6	5	2	5	3	5	2	△
28	新規就農研修生	1	人	2	1	2	2	2	3	2	0	2	1	△
29	森林経営計画対象面積	4,558	ha	4,700	4,766	5,100	5,317.3	4,800	4,787	5,100	4,548	5,500	3,895	△
30	森林作業道の新規開設	11,314	m	10,000	11,000	10,000	16,541	10,000	13,595	10,000	10,347	10,000	12,890	◎
31	林道整備(開設)【H29年度見直しにより追加】	-	m	2,191	2,058	1,440	1,959	2,009	1,542	1,240	1,463	1,300	758	△
32	間伐の実施 保育【H28年度見直しにより移動】	190	ha	230	190	200	71.5	200	119	200	45.07	200	61.69	△
33	間伐の実施 搬出【H28年度見直しにより移動】	26	ha	60	78	80	60.2	80	28.48	100	53.31	100	45.64	△
34	再造林の実施	21	ha	17	18	30	31.4	30	15.94	30	22.74	30	34.27	◎
35	下刈りの実施	0	ha	60	44	60	45.3	60	49.23	60	44.68	60	36.29	△
36	枝打ちの実施【H28年度見直しにより追加】	0	ha	-	0	4	0	5	0	5	0	5	2	△
37	新規林業就業者【H28年度見直しにより追加】	0	人	0	11	6	5	6	9	7	1	7	6	△
38	新規林業就業者への研修支援	9	人	11	11	15	13	18	19	19	13	20	11	△
39	共同試験の実施	1	箇所	1	1	3	3	3	4	4	5	4	6	◎
43	新規立地件数(H24~H27 累計)	1	件	1	0	0	0	0	0	1	0	2	1	△
44	伊野製紙工業会会員の売上	20,735	百万円	20,735	21309.8	20,735	21,572	20,735	22,920	20,735	23,630	20,735	23,319	◎
45	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	1,355	万円	1,400	1351.9	1,400	1,213	1,500	1,214	1,600	1,083	1,700	906	△
46	手すき職人数	8	人	8	8	8	8	8	7	8	7	8	6	△
47	直販店の販売額	11,194	万円	11,200	26,800	11,200	26,830	26,900	25,760	26,950	25,500	27,000	25,110	△
48	学校給食の食材における地場産物の活用割合(食品数ベース) H22	44.9	%	50.0	71.3	50	72.4	75	59.5	75	64.4	75.0	72.8	△
49	体験型プログラム参加人数	20,849	人	21,000	24,525	22,000	26,015	23,000	26,493	24,000	27,546	25,000	28,428	◎
50	体験料収入	29,946	千円	30,000	44,153	30,500	52,480	31,000	50,704	40,000	51,718	40,000	56,687	◎
55	大学等との連携した事業展開検討	0	件	1	1	1	2	1	3	2	2	3	2	△

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 1

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	利用権新規設定数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課	★利用権新規設定数	6	件	0	件		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		6	6	6	6	6	件
実績値		5	16	10	3	6	件
目標に対する達成率		83%	267%	167%	50%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率		500%	1600%	1000%	300%	600%	
評価		△	◎	◎	△	○	
PLAN:取組内容	<p>■ 担い手等耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し、利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)</p>						
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値と同数の実績となった。						
CHECK:分析	窓口での相談や地元説明会での周知により目標達成したと思われる。						
ACTION:今後の対応	引き続き各説明会等により周知を行い、目標数値達成を図る。						

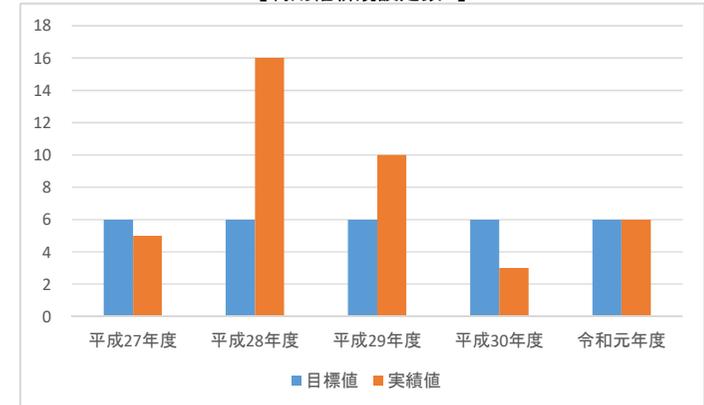
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【利用権新規設定数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 2

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 農地中間管理機構利用数 出し手					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手	5	件	5	件	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	5	5	5	5	5	件
実績値	4	2	2	2	0	件
目標に対する達成率	80%	40%	40%	40%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率	-20%	-60%	-60%	-60%	-100%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	<p>■ 担い手等耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し、利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	窓口での相談は何件もあったが申請は0件であった。					
CHECK:分析	貸し手と借り手の希望する土地がマッチングしなかったためと思われる。					
ACTION:今後の対応	広報や事業説明会等でも制度の説明をし、周知を図る。					

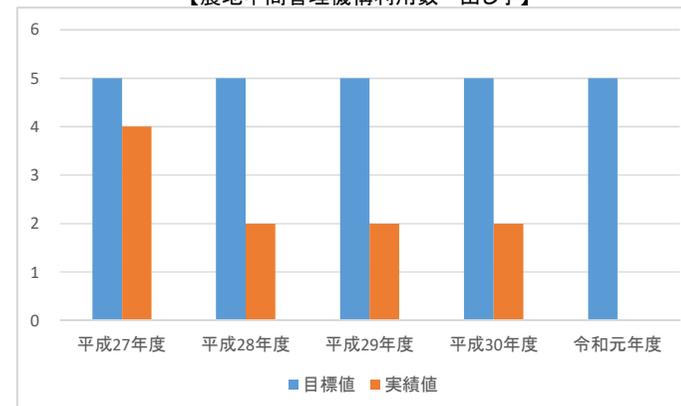
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 3

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	農地中間管理機構利用数 出し手					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 出し手	1.0	ha	0.8	ha		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	ha
実績値		0.7	1.1	0.3	0.2	0.0	ha
目標に対する達成率		70%	110%	25%	20%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率		-13%	38%	-69%	-75%	-100%	
評価		△	◎	△	△	△	
PLAN:取組内容	<p>■ 担い手等耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し、利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)</p>						
DO:実績 (事業内容等を記載)	窓口での相談は何件もあったが申請は0件であった。						
CHECK:分析	貸し手と借り手の希望する土地がマッチングしなかったためと思われる。						
ACTION:今後の対応	広報や事業説明会等でも制度の説明をし、周知を図る。						

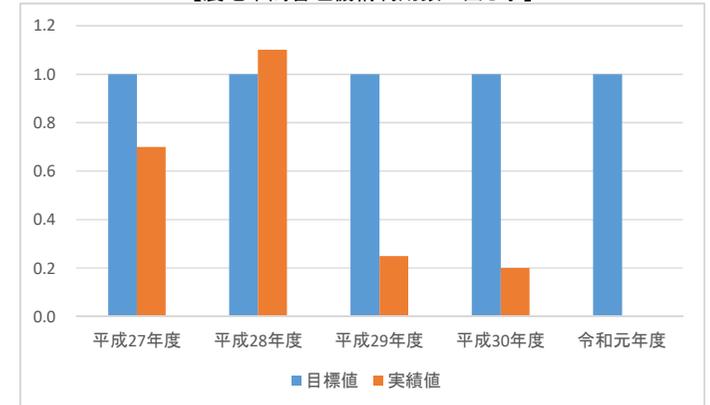
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 出し手】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 4

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手	4	件	4	件	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		4	4	4	4	4
実績値		1	1	2	2	0
目標に対する達成率		25%	25%	50%	50%	0%
基準値に対する増減率		-75%	-75%	-50%	-50%	-100%
評価		△	△	△	△	△
PLAN:取組内容	<p>■ 担い手等耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し、利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	窓口での相談は何件もあったが申請は0件であった。					
CHECK:分析	貸し手と借り手の希望する土地がマッチングしなかったためと思われる。					
ACTION:今後の対応	広報や事業説明会等でも制度の説明をし、周知を図る。					

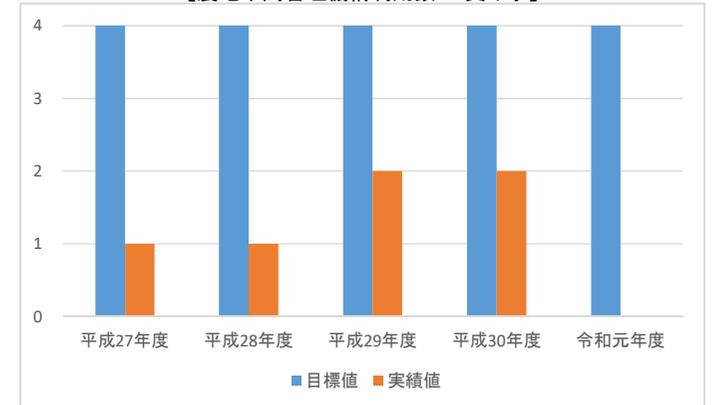
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 5

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	農地中間管理機構利用数 受け手					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課	★農地中間管理機構利用数 受け手	2.5	ha	2.5	ha		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		2.5	2.5	2.5	2.5	2.5	ha
実績値		0.4	0.6	0.3	0.2	0.0	ha
目標に対する達成率		16%	24%	10%	8%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率		-84%	-76%	-90%	-92%	-100%	
評価		△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	<p>■ 担い手等耕作意欲のある農業者に農地を集約するため、担い手の意向等を調査し、利用権設定数、農地中間管理機構利用数の目標達成を目指す。 (利用権設定等促進事業・農地中間管理事業)</p>						
DO:実績 (事業内容等を記載)	窓口での相談は何件もあったが申請は0件であった。						
CHECK:分析	貸し手と借り手の希望する土地がマッチングしなかったためと思われる。						
ACTION:今後の対応	広報や事業説明会等でも制度の説明をし、周知を図る。						

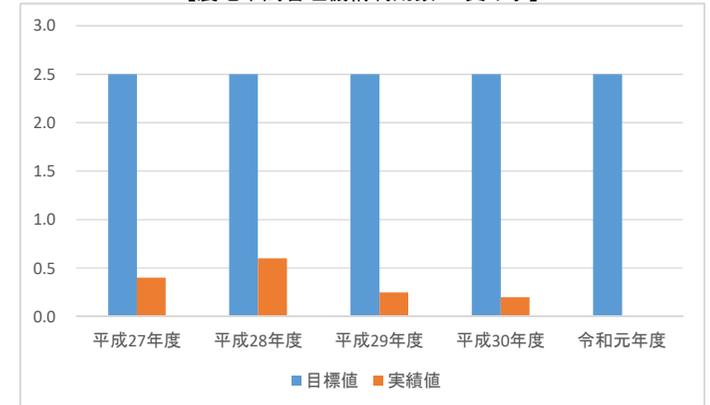
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【農地中間管理機構利用数 受け手】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 6

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定締結数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定締結数	21	集落	27	集落	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	21	21	21	21	21	集落
実績値	21	21	21	20	20	集落
目標に対する達成率	100%	100%	100%	95%	95%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	-22%	-22%	-22%	-26%	-26%	
評価	○	○	○	△	△	
PLAN:取組内容	<p>■ 中山間地域の条件不利地の農用地における農業生産活動を支援するため、三期対策で撤退した集落協定を中心に具体的な意向を調査し、再度取り組み可能な農地について取り込んでいき、目標達成を目指す。(中山間地域等直接支払制度)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	各集落協定に対し、書類の作成等様々な支援を実施したが、1集落が29年度で撤退となった。					
CHECK:分析	構成員の高齢化や病気等で、継続が困難となり撤退した。					
ACTION:今後の対応	協定書や各種書類の作成支援を実施することで、協定での事務負担の軽減に取り組み、現在の協定を可能な限り維持する。					

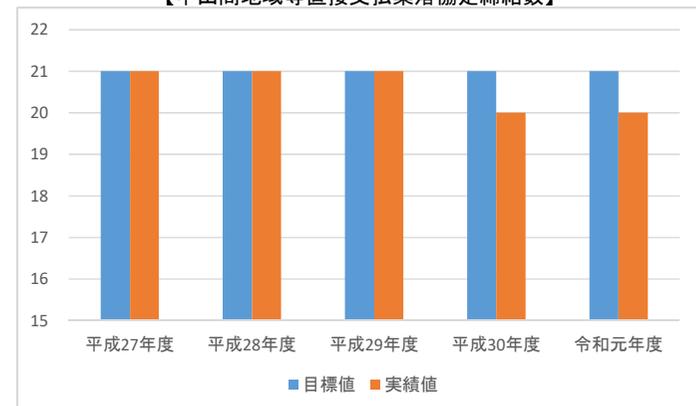
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定締結数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 7

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	中山間地域等直接支払集落協定面積					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課・吾北産業課	★中山間地域等直接支払集落協定面積	1,549,048	m ²	-	m ²		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
目標値		-	-	1,534,048	1,544,048	1,549,048	単位
実績値		1,472,419	1,514,048	1,534,612	1,515,374	1,520,900	m ²
目標に対する達成率		-	-	100%	98%	98%	複数年度 目標
基準値に対する増減率		-	-	-	-	-	
評価			◎	△	△		
PLAN:取組内容	<p>■ 中山間地域の条件不利地の農用地における農業生産活動を支援するため、三期対策で撤退した集落協定を中心に具体的な意向を調査し、再度取り組み可能な農地について取り込んでいき、目標達成を目指す。(中山間地域等直接支払制度)</p>						
DO:実績 (事業内容等を記載)	各協定に追加農地の確認等を毎年行い、多くの農地を協定に含めるよう努めた。						
CHECK:分析	目標面積は達成できなかったが、当初の面積から5ha近く増加できている。						
ACTION:今後の対応	今後も継続して協定農用地の拡大を図っていくとともに現在の協定農用地の保持を図る。						

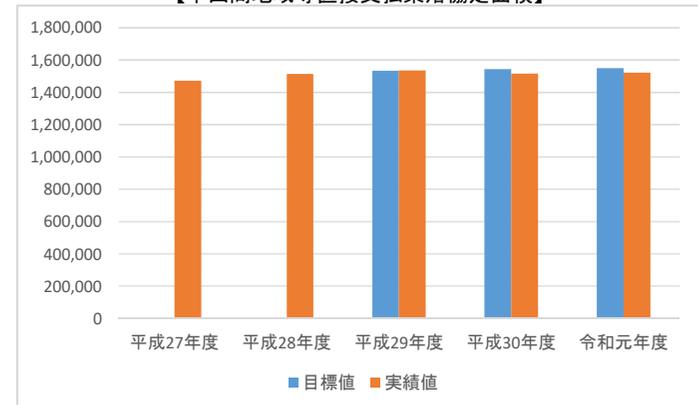
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中山間地域等直接支払集落協定面積】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 8

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	①	農地の保全管理					
項目	★	多面的機能支払対象組織数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課	★多面的機能支払対象組織数	4	組織	1	組織		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		3	4	4	4	4	組織
実績値		3	3	4	4	3	組織
目標に対する達成率		100%	75%	100%	100%	75%	複数年度 目標
基準値に対する増減率		200%	200%	300%	300%	200%	
評価		○	△	○	○	△	
PLAN:取組内容	■ 農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援（多面的機能支払制度）						
DO:実績 (事業内容等を記載)	1組織が活動の継続を取り止めた。						
CHECK:分析	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を行うことが出来たものの、活動を行うにあたり、地域のリーダーの不在や高齢化が原因となっている。						
ACTION:今後の対応	今後も引き続き、個別の説明会の開催などにより活動組織の増加を図る。また現在活動している組織の面積、交付金額の増を目指す。						

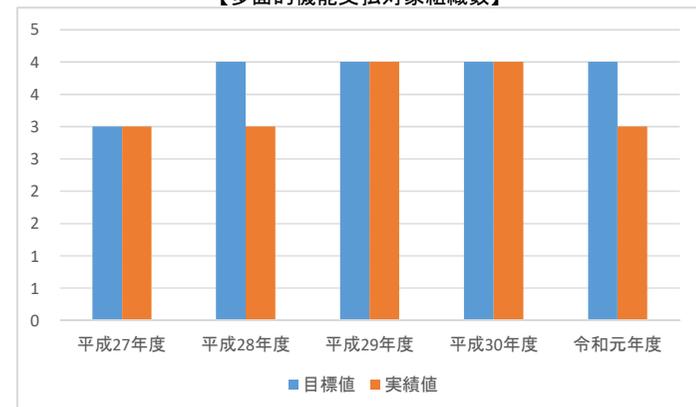
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【多面的機能支払対象組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 9

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	① 農地の保全管理					
項目	★ 集落営農組織数					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★集落営農組織数		10	組織	10	組織
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	11	10	10	10	10	組織
実績値	10	10	10	10	11	組織
目標に対する達成率	91%	100%	100%	100%	110%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	10%	
評価	○	○	○	○	◎	
PLAN:取組内容	<p>■ 地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。 (高知県集落営農支援事業)</p> <p>■ 集落営農組織の育成と法人化等のステップアップへの支援のため集落営農塾を開催し、集落営農の重要性、法人化のメリット、デメリット等について説明し、集落にあった形の集落営農組織への誘導を図ることにより、目標達成を目指す。 (集落営農普及促進事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	小野営農組合が令和2年3月1日に新たに設立され、1組織増加した。					
CHECK:分析	新規に組織の設立はあったが、各組織とも高齢化、リーダー不足が課題である。					
ACTION:今後の対応	現在の組織存続に重点を置く。そのために各組織ごとで可能な範囲での活動や存続に向け今後の担い手となる認定農業者、認定新規就農者を中心に若手リーダーの発掘に努める。					

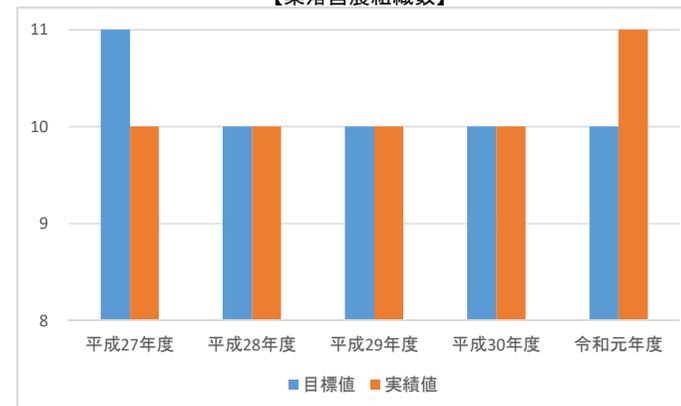
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落営農組織数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 10

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	耕作放棄地解消				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
吾北産業課	★耕作放棄地解消	1	件	1	件	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	1	1	1	1	1	件
実績値	1	1	0	0	0	件
目標に対する達成率	100%	100%	0%	0%	0%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	0%	-100%	-100%	-100%	
評価	○	○	△	△	△	
PLAN:取組内容	担い手等による再生利用実施計画に基づき、再生可能な耕作放棄地を有効活用するとともに集落営農組織へ積極的に働きかけ、集落ぐるみで耕作放棄地解消を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	令和元年度は実績なし。					
CHECK:分析	集落営農組合により、これまで再生した農地は適正に管理されている。					
ACTION:今後の対応	現在把握している耕作放棄地は、相続の問題等により再生することが困難なものが多い。今後も継続して集落営農組織、担い手等を中心に耕作放棄地解消に努めるとともに、新たな耕作放棄地が増えることを抑えるため、中山間地域等直接支払交付金等の国、県の補助事業の周知を図る。					

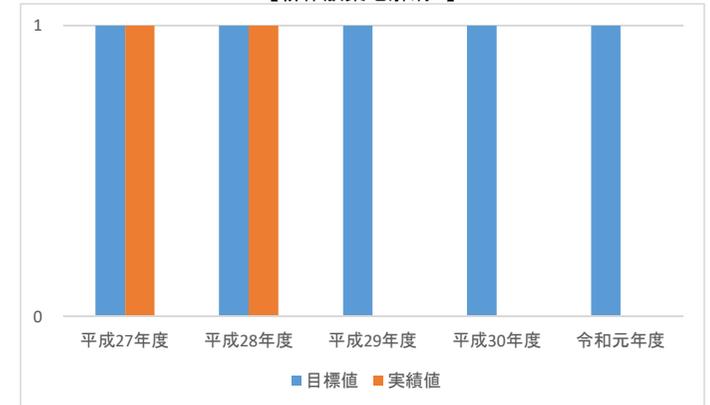
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【耕作放棄地解消】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

11

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	耕作放棄地解消				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
吾北産業課	★耕作放棄地解消	19.0	a	13.0	a	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		8.0	8.0	19.0	19.0	19.0
実績値		10.0	19.0	19.0	19.0	19.0
目標に対する達成率		125%	238%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率		-23%	46%	46%	46%	46%
評価		△	◎	○	○	○
PLAN:取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	集落営農組合により再生した農地は、継続して維持管理に取り組んでいる。					
CHECK:分析	集落営農組合により、継続して適正な維持管理が行われている。					
ACTION:今後の対応	今後も集落営農組織や担い手などを中心に耕作放棄地解消に取り組む。					

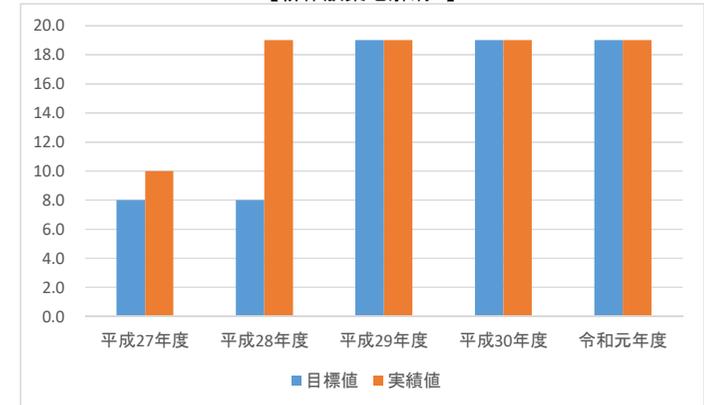
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【耕作放棄地解消】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 12

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	①	農地の保全管理				
項目	★	作業受託面積【H28年度版より⇒移動】				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
吾北産業課	★作業受託面積【H28年度版より⇒移動】	10.0	ha	10.0	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	12.0	10.0	10.0	10.0	10.0	ha
実績値	9.0	12.0	14.0	15.1	15.9	ha
目標に対する達成率	75%	120%	140%	151%	159%	単年度目標
基準値に対する増減率	-10%	20%	40%	51%	59%	
評価	△	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	地域農業の維持及び活性化に向けて集落営農組織等を育成し、併せて農業生産の共同活動に取り組む集落営農組織の機械設備等への支援を行うことにより、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	H31.1に法人化した農事組合法人上東で実施されており、令和元年度の作業受託面積は15.92haとなった。					
CHECK:分析	防除作業を中心に受託面積が増加した。高齢等の理由により耕作できなくなった農地がでてきているため、受託作業だけではなく、法人で農地を借り受け農地を保全する必要がある。					
ACTION:今後の対応	農地の貸借契約や農業機械の更新計画等、県農業振興センターと連携し支援していく。					

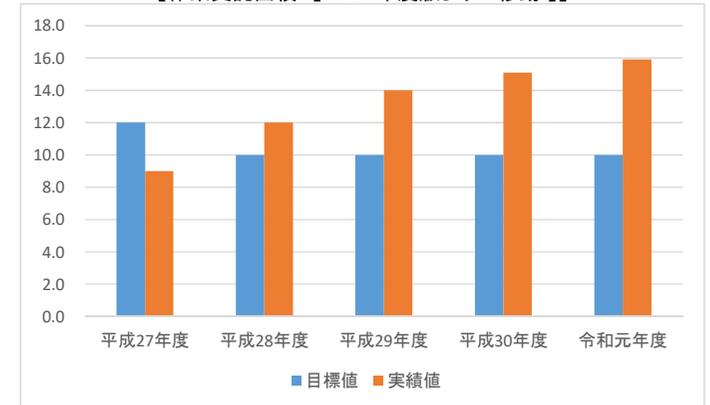
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【作業受託面積【H28年度版より⇒移動】】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1) 地産の強化を図る				
具体的な施策	ア 農業の振興				
	② 農業経営安定化の推進				
項目	★ 青年就農給付金 夫婦型				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度
	令和元年度				実績等
産業経済課 吾北総合支所産業課	★青年就農給付金 夫婦型	3	組	0	組
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	3	3	3	3	3
実績値	0	2	0	0	0
目標に対する達成率	0%	67%	0%	0%	0%
基準値に対する増減率	0%	200%	0%	0%	0%
評価	△	△	△	△	△
PLAN:取組内容	■ 新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)				
DO:実績 (事業内容等を記載)	夫婦による新規就農者0組				
CHECK:分析	夫婦による新規就農希望者がいなかった				
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努める				

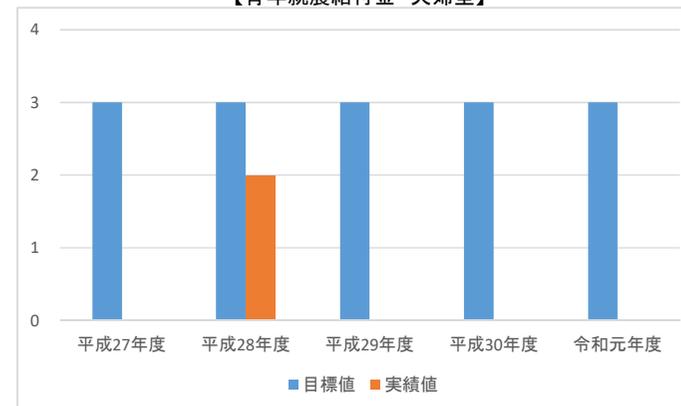
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【青年就農給付金 夫婦型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

14

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 青年就農給付金 単独型					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課 吾北総合支所産業課	★青年就農給付金 単独型	6	名	0	名	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	3	6	6	6	6	名
実績値	0	1	1	3	1	名
目標に対する達成率	0%	17%	17%	50%	17%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	100%	100%	300%	100%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	■ 新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	単独により新規就農者1名					
CHECK:分析	平成29年度と平成30年度に、まるい生姜部会において研修した研修生を確実に就農をつなげることができたが、その他の新たな就農希望者がいなかった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努める					

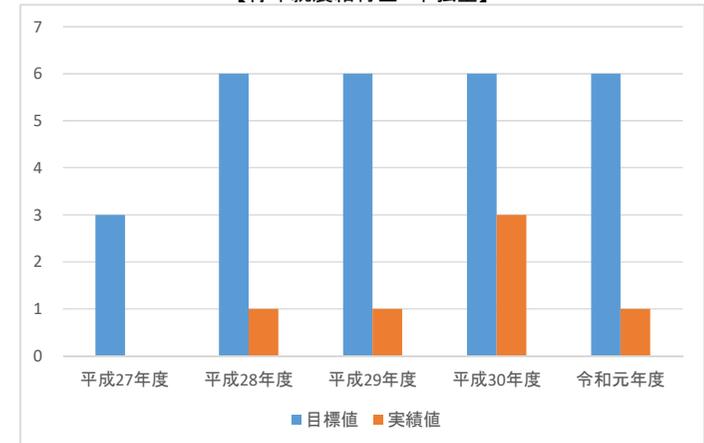
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【青年就農給付金 単独型】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 15

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	JAコスモス取扱高 伊野支所 生姜				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★JAコスモス取扱高 伊野支所 生姜	250,000	千円	224,787	千円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	220,000	220,000	220,000	250,000	250,000	千円
実績値	251,668	284,005	302,605	298,157	311,403	千円
目標に対する達成率	114%	129%	138%	119%	125%	単年度目標
基準値に対する増減率	12%	26%	35%	33%	39%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	生姜については、部会での研修会を開催しよりよい栽培方法などを検討し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値を上回ることができた。					
CHECK:分析	栽培講習会や先進地視察研修などにより生産者の意識向上を図ったことが目標達成の要因と考えられる。					
ACTION:今後の対応	今後も、栽培講習会や先進地視察により出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

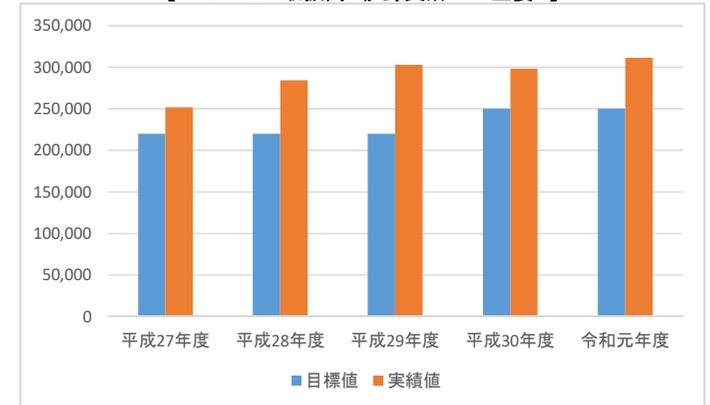
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【JAコスモス取扱高 伊野支所 生姜】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 16

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	JAコスモス取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★JAコスモス取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋	10,000	千円	7,660	千円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	千円
実績値	6,645	7,315	4,298	5,615	6,023	千円
目標に対する達成率	66%	73%	43%	56%	60%	単年度目標
基準値に対する増減率	-13%	-5%	-44%	-27%	-21%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	里芋等については、部会での研修会を開催し新しい販売方法等を検討し、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値を上回ることができなかった。					
CHECK:分析	研修会や先進地視察研修などにより生産者の意識向上を図ったが、目標を達成できなかった。					
ACTION:今後の対応	今後も、栽培講習会や販売促進研修により出荷量の向上に努め生産額の向上を図る。					

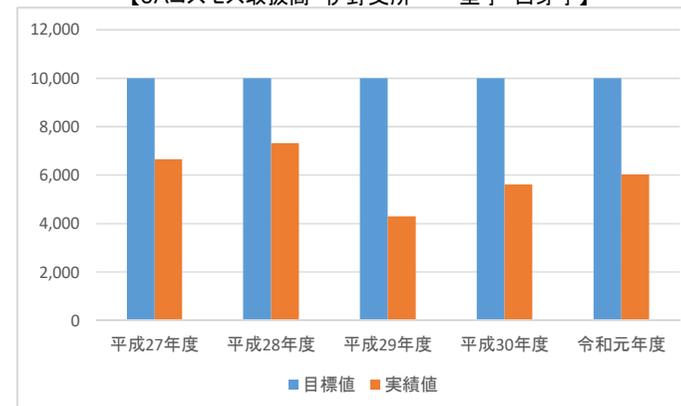
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【JAコスモス取扱高 伊野支所 里芋・白芽芋】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 17

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	JAコスモス取扱高 吾北支所 柚子				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
吾北産業課	★JAコスモス取扱高 吾北支所 柚子	27,000	千円	22,875	千円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	24,000	25,000	25,000	26,000	27,000	千円
実績値	30,320	34,429	29,972	32,383	42,643	千円
目標に対する達成率	126%	138%	120%	125%	158%	単年度目標
基準値に対する増減率	33%	51%	31%	42%	86%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	柚子については、部会での研修会を開催し玉出荷を励行し、単価増を図り、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	出荷額は42,643千円となった。					
CHECK:分析	令和元年度は、裏年傾向の年と予想していたが、2年連続の表年となり出荷量が大きく増加した。また、販売価格の安定とともに鳥獣被害に強い品目として、水稲栽培からの転換や、耕作放棄地対策として柚子栽培を行う生産者が増加した。					
ACTION:今後の対応	今後も、栽培講習会や先進地視察等により玉出率の向上に努め生産額の向上を図る。					

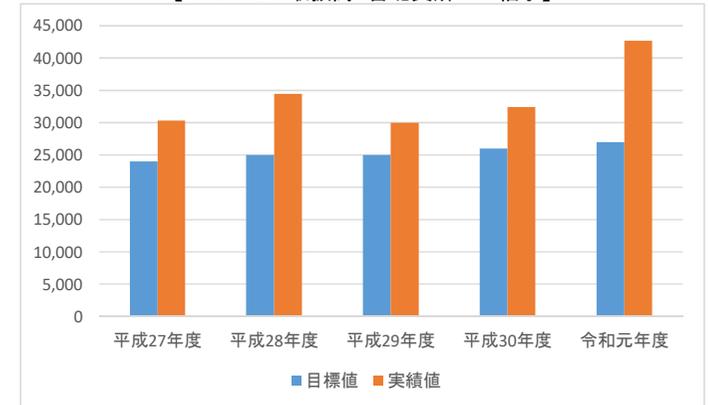
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【JAコスモス取扱高 吾北支所 柚子】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	JAコスモス取扱高 吾北支所 わさび				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
吾北産業課	★ JAコスモス取扱高 吾北支所 わさび	6,000	千円	4,802	千円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	5,000	5,000	5,000	6,000	6,000	千円
実績値	4,149	3,985	3,994	2,489	3,909	千円
目標に対する達成率	83%	80%	80%	41%	65%	単年度目標
基準値に対する増減率	-14%	-17%	-17%	-48%	-19%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	ワサビについては、新規栽培者の開拓を提案型担い手確保対策とも絡めて行い、目標達成を目指す。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	出荷額は3,909千円となった。					
CHECK:分析	令和元年度の苗は状態が良く、また、生育初期から収穫までの気象条件も良かったことから、栽培経験の長い生産者は、全員が前年度の出荷額を上回った。					
ACTION:今後の対応	前年度と比較し、販売額は伸びたものの目標値とは大きな乖離がる。 農協、県農業振興センターと連携し、病気の予防に継続して努める。 また、農業公社で実践した不織布(バオパオ)での簡易な栽培を水田の後作として広めたる等、新たな生産者を増やす取り組みを推進する。					

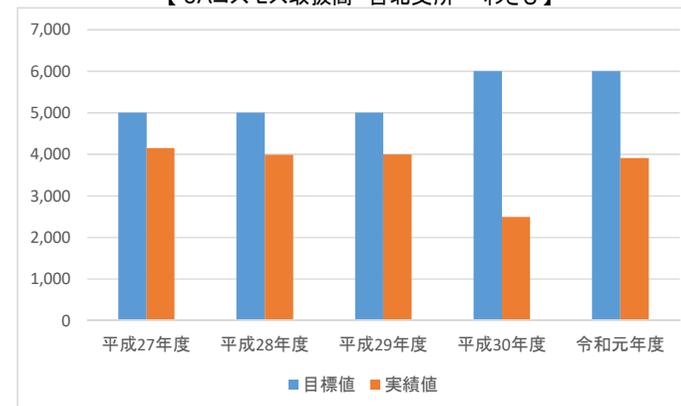
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【 JAコスモス取扱高 吾北支所 わさび】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

19

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	本川きじの販売額				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業建設課	★本川きじの販売額	18,600	千円	9,178	千円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	10,000	11,810	12,400	13,000	18,600	千円
実績値	11,207	14,692	14,919	14,191	14,859	千円
目標に対する達成率	112%	124%	120%	109%	80%	単年度目標
基準値に対する増減率	22%	60%	63%	55%	62%	
評価	◎	◎	◎	◎	△	
PLAN:取組内容	いの町本川地区の特産品である「本川きじ」の販路の拡大と顧客ニーズに対応した商品の開発に取り組み、中山間地域の基幹産業として定着させる。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標を達成することは叶わなかったが、売り上げは昨年度より668千円増加した。					
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> ◆営業力強化による販路拡大 ◆安定した生産体制の確保 ◆衛生管理向上と生産能力拡大に向けた施設改修の計画策定 ◆ふるさと納税への登録 					
ACTION:今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度において、施設の改修を行い衛生管理の向上と生産能力の拡大を図る。 ・「高知県版HACCPステージ2」を取得したが、引き続き「高知県版HACCPステージ3」の取得を目指す。 ・販売額の拡大のため、個人消費者へのアプローチと外商への取り組みを継続する。 ・安定した生産体制を確立するため、飼育担当人材の確保、育成に継続して取り組む。 					

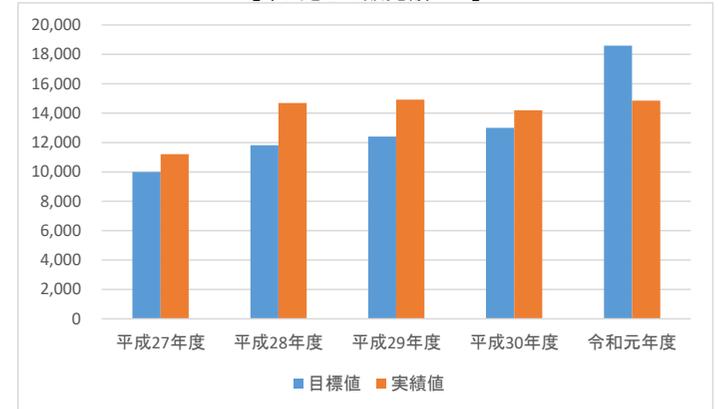
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川きじの販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 21

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 生姜等加工品の販売額					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★生姜等加工品の販売額		360,000	千円	214,000	千円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	276,000	276,000	346,000	360,000	360,000	千円
実績値	345,845	531,903	460,000	-	-	千円
目標に対する達成率	125%	193%	133%			単年度目標
基準値に対する増減率	62%	149%	115%			
評価	○	◎	◎	評価なし	評価なし	
PLAN: 取組内容	いの町内の生姜の生産量を増やし、加工業者に納入することで、生姜等加工品の販売額増を図る。					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	西村青果の実績が把握できないので、入力なし。					
CHECK: 分析						
ACTION: 今後の対応						

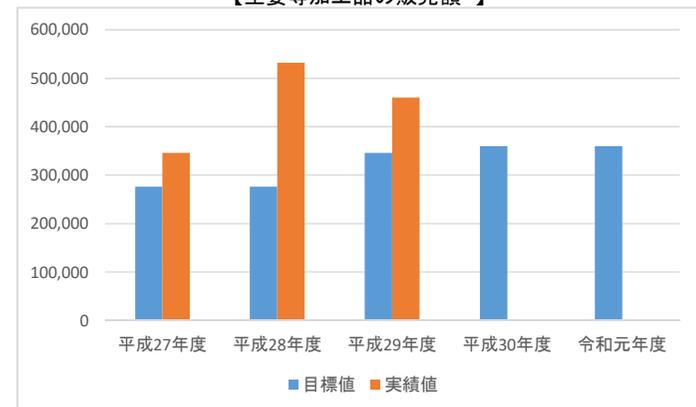
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【生姜等加工品の販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	評価なし

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ア	農業の振興					
	②	農業経営安定化の推進					
項目	★	森の小さなお菓子屋さん、吾北地区農漁村女性グループ等売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
吾北産業課	★森の小さなお菓子屋さん、吾北地区農漁村女性グループ等売上	120	%[基準比]		100	%[基準比]	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		110	110	110	115	120	%[基準比]
実績値		120	128	134	137	138	%[基準比]
目標に対する達成率		109%	116%	122%	119%	115%	単年度目標
基準値に対する増減率		20%	28%	34%	37%	38%	
評価		◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	農業創造セミナーへの参加による新商品の開発や既存商品の見直しと、商品をよりアピールするショーケース等の整備を行い、目標達成を目指す。また、女性グループ等への支援として活動に対しての助成を行い、更なる売上増を目指す。						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	お菓子屋さんは新商品の販売やSNSでの情報発信、女性グループは町からの助成金の交付などにより売上額は下記のとおりとなった。 お菓子屋さん 26年度8,065千円→元年度11,348千円 女性グループ 26年度472千円→元年度486千円 売上は26年度と比較して138%となり目標は達成された。						
CHECK: 分析	お菓子屋さんについては道の駅633美の里直販所で販売される農産物を使用した新商品の販売、SNSをによるPRを行ったことで目標を大きく上回る実績となった。女性グループが毎年4月に行っている春の花まつりはリピーターも多く一定の集客があるものと考えられる。						
ACTION: 今後の対応	お菓子屋さんについては、地域おこし協力隊との新商品の開発やSNSによる情報発信を継続し、更なる売上増を目指す。女性グループはメンバーは高齢化が進んでおり、その中での事業の継続にあたってはメンバーから不安の声が聞かれる。また農家レストランの開催場所の確保が難しくなっており、事業の継続に向けて事務局である県農業振興センターと協力しながらサポートしていく。						

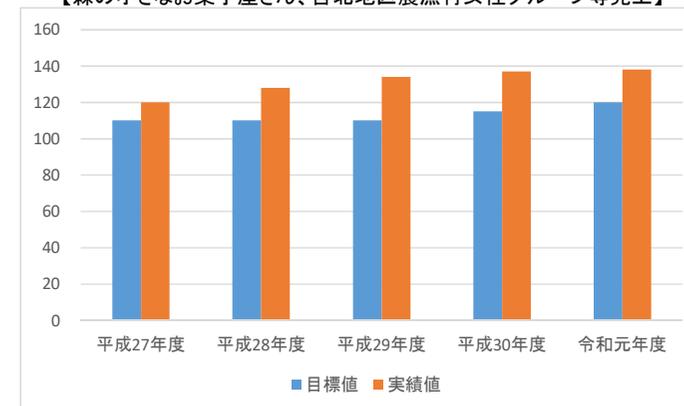
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【森の小さなお菓子屋さん、吾北地区農漁村女性グループ等売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	吾北物産出荷協議会の売上				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
吾北産業課	★吾北物産出荷協議会の売上	105	%[基準比]	100	%[基準比]	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		105	105	105	110	110
実績値		108	108	109	110	105
目標に対する達成率		103%	103%	104%	100%	95%
基準値に対する増減率		8%	8%	9%	10%	5%
評価		◎	◎	◎	○	△
PLAN: 取組内容	<p>県農業振興センター、JA高知県吾北支所等関係機関の指導のもと、道の駅633美の里の売上が落ち込む冬季に販売(栽培)可能な有望品目を検討する。 また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートにより、地区の担い手を確保する。</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	26年度: 63,560千円、27年度: 68,670千円、28年度68,736千円、29年度: 69,065千円、30年度: 70,126千円、元年度66,674千円					
CHECK: 分析	販売高は長い期間で見れば伸びてきているが、地域の高齢化に伴い出荷者数が減少してきていることもあり、元年度においては前年度比では減となった。特に下半期は販売額が落ち込んでおり、POSデータを活用して県農業振興センターから新しい作型を提案する講習を行ったが、実際の栽培や出荷に結びつかなかった。出荷者にとってより分かりやすいデータの提供が必要である。					
ACTION: 今後の対応	POSシステムを活用し、下半期の栽培品目・販売方法について出荷者に対し、分かりやすい情報提供をする。また、吾北地区で就農を希望する就農前後の青年新規就農者に対しての補助、JA・県・町等の関係機関の連携によるサポートを引き続き行い、地区の担い手を確保する。					

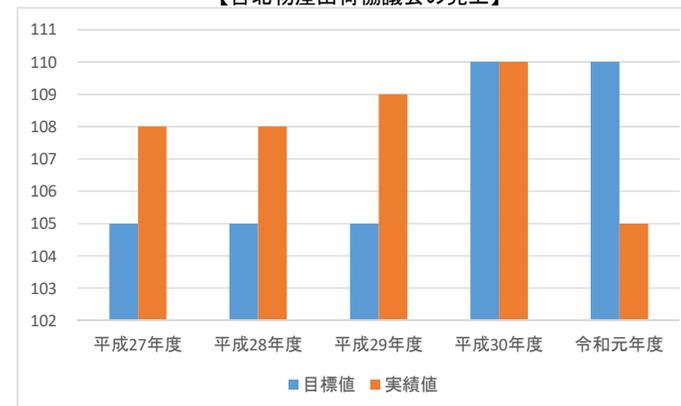
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【吾北物産出荷協議会の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 24

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	有害鳥獣捕獲数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課、吾北総合支所産業課、本川総合支所産業建設課	★有害鳥獣捕獲数	3,000	頭(羽)	2,083	頭(羽)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	2,250	2,910	3,000	3,000	3,000	頭(羽)
実績値	2,032	1,917	2,065	1,713	2,156	頭(羽)
目標に対する達成率	90%	66%	69%	57%	72%	単年度目標
基準値に対する増減率	-2%	-8%	-1%	-18%	4%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	野生鳥獣による農林作物の被害対策として、対象有害鳥獣の捕獲に交付金・報償金を交付する。(鳥獣被害防止緊急捕獲等対策事業・有害鳥獣捕獲に関する報償金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	イノシシ959頭、サル209頭、カラス634頭、シカ240頭、ハクビシン134頭、アナグマ49頭を捕獲し、前年比率126%だったが、目標値は下回った。					
CHECK:分析	目標値を下回った要因として、捕獲者の高齢化や人材の減少が挙げられる。					
ACTION:今後の対応	猟友会等更なる連携を行い、捕獲する人材の確保、周知に努める。					

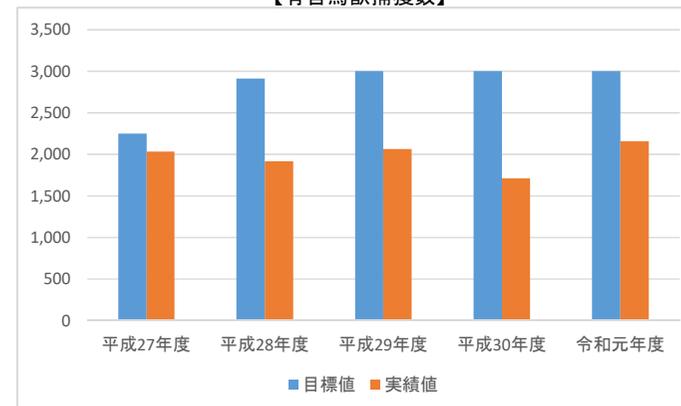
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【有害鳥獣捕獲数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 25

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	②	農業経営安定化の推進				
項目	★	電気柵設置数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課・吾北総合支所産業課・本川総合支所産業建設課	★電気柵設置数	25	件	52	件	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	80	25	25	25	25	件
実績値	23	27	28	39	46	件
目標に対する達成率	29%	108%	112%	156%	184%	単年度目標
基準値に対する増減率	-56%	-48%	-46%	-25%	-12%	
評価	△	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	農業者等又は、狩猟者等が有害鳥獣の捕獲に必要な檻及び被害防止のためのトタン・電気柵等の購入費を補助(鳥獣被害緊急対策事業、鳥獣被害対策支援総合補助金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	目標値を上回る46件の申請があった。					
CHECK:分析	口頭・広報等による周知を行い、目標値を上回ったと考えられる。昨年と比較し、7件増加した。					
ACTION:今後の対応	さらなる周知に努め、防除による被害対策を進めていく。					

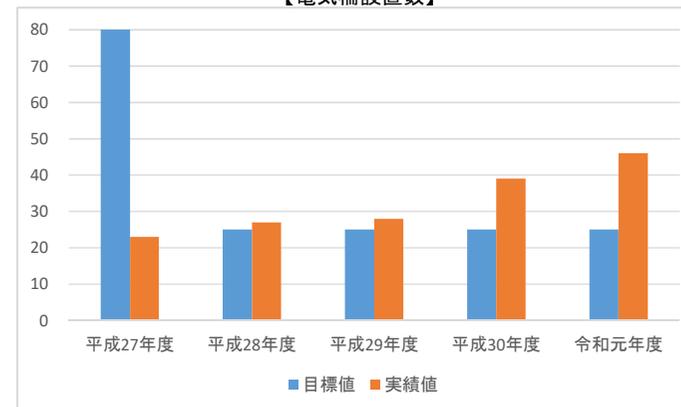
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【電気柵設置数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 26

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ア 農業の振興					
	② 農業経営安定化の推進					
項目	★ 狩猟免許取得補助数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★狩猟免許取得補助数		16	件	11	件
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	18	16	16	16	16	件
実績値	0	9	10	6	8	件
目標に対する達成率	0%	56%	63%	38%	50%	単年度目標
基準値に対する増減率	-100%	-18%	-9%	-45%	-27%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	農林水産物被害対策として、鳥獣を捕獲するために必要な狩猟免許の取得経費を補助(狩猟免許取得補助金)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	当初の目標を下回る8件であった。					
CHECK:分析	事業の周知不足、狩猟免許を新しく取得する人材が少ないことが原因として挙げられる。					
ACTION:今後の対応	広報等を利用し、事業周知に努める。					

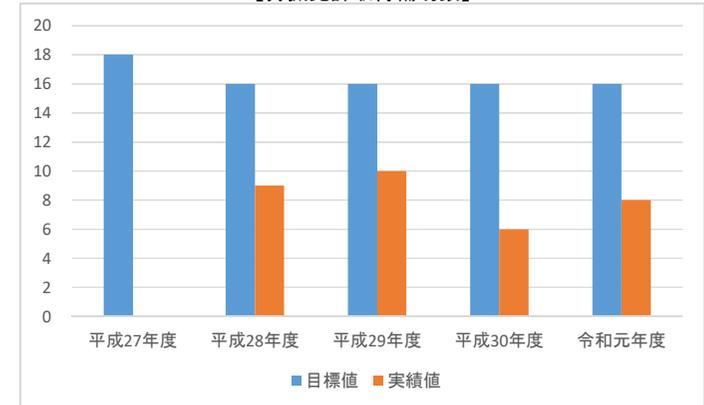
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【狩猟免許取得補助数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

27

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1) 地産の強化を図る				
具体的な施策	ア 農業の振興				
	③ 担い手等の確保・育成				
項目	★ 新規就農者数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度
	令和元年度				実績等
産業経済課・吾北産業課	★新規就農者数		5	人/年	3 人/年
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	9	5	5	5	5 人/年
実績値	1	6	2	3	2 人/年
目標に対する達成率	11%	120%	40%	60%	40%
基準値に対する増減率	-67%	100%	-33%	0%	-33%
評価	△	◎	△	△	△
PLAN:取組内容	■ 新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援(新規就農者支援事業)				
DO:実績 (事業内容等を記載)	吾北地区1名伊野地区1名が就農した				
CHECK:分析	農地の確保や、資金の確保がむずかしく、就農につなげることができなかった。				
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、支援をおこなっていく				

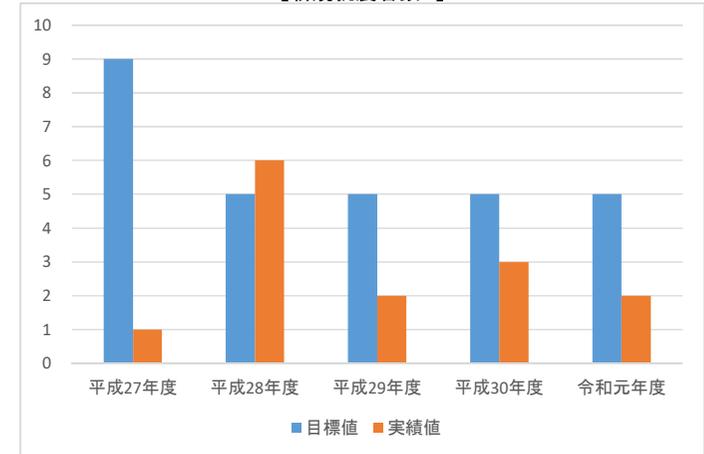
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	<p>就農されてから、経営に苦労されている方はいないか？</p> <p>県中央西農業振興センターや農協による支援を行っている。</p>
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ア	農業の振興				
	③	担い手等の確保・育成				
項目	★	新規就農研修生				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課	★新規就農研修生	2	人/年		0	人/年
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		2	2	2	2	2
実績値		1	2	3	0	1
目標に対する達成率		50%	100%	150%	0%	50%
基準値に対する増減率		100%	200%	300%	0%	100%
評価		△	○	◎	△	△
PLAN:取組内容	新規就農者の確保・維持、実践研修などによる営農定着の支援 ((公財)いの町農業公社研修事業等) 研修手当、青年就農給付金の支給(青年就農給付金等)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	(公財)いの町農業公社と、JAコスモスまるい生姜部会において、産地提案型担い手確保対策として取り組んだ結果、1名の農業研修生を確保した。					
CHECK:分析	農業公社のホームページや、高知県農業会議が発行しているチラシなどで就農希望者を募ったが1名にとどまった。					
ACTION:今後の対応	関係機関と連携を密にし情報収集に努めるとともに、さらなる周知を行い研修生の確保に努める。					

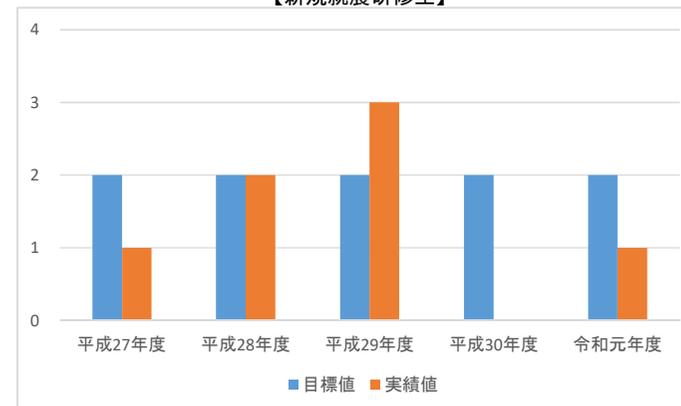
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規就農研修生】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業生産活動の効率化・活性化				
項目	★	森林経営計画対象面積				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★森林経営計画対象面積	5,500	ha	4,558	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	4,700	5,100	4,800	5,100	5,500	ha
実績値	4,766	5,317.3	4,787	4,548	3,895	ha
目標に対する達成率	101%	104%	100%	89%	71%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	5%	17%	5%	0%	-15%	
評価	◎	◎	○	△	△	
PLAN:取組内容	森林経営計画の策定の推進（森林整備地域活動支援交付金）					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ●林業事業体における森林整備地域活動支援交付金の活用実績はなかった。 ●森林政策課による森林経営計画の策定支援を行った。 					
CHECK:分析	林業事業体の集約化に向けた取組により、令和元年度は新たに4箇所で開催された。計画期間満了箇所では当面必要な施業が終了したことから、5箇所中4箇所の更新がなされなかった。					
ACTION:今後の対応	林地台帳を活用した森林情報の適切な提供等による策定支援とともに、県の新たな認定システムを用いて円滑な認定業務を推進する。					

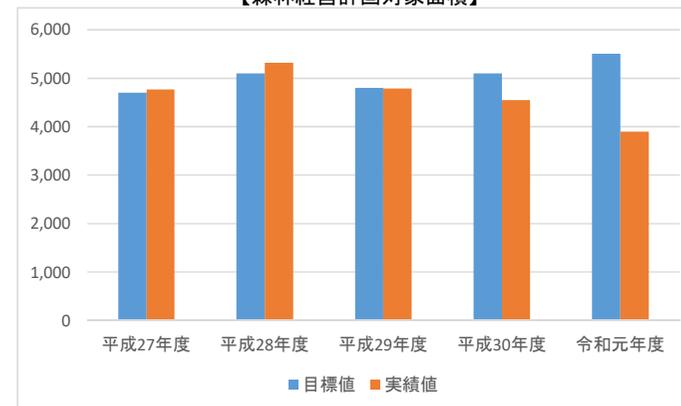
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【森林経営計画対象面積】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 30

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業生産活動の効率化・活性化				
項目	★	森林作業道の新規開設				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★森林作業道の新規開設	10,000	m	11,314	m	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	m
実績値	11,000	16,541	13,595	10,347	12,890	m
目標に対する達成率	110%	165%	136%	103%	129%	単年度目標
基準値に対する増減率	-3%	46%	20%	-9%	14%	
評価	△	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	持続可能な森林経営の実現（森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、緊急間伐総合支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ●「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:6,578m ●「吉野川」水源の森整備事業:2,137m ●森林(もり)づくり交付金事業:3,403m ●森林整備緊急対策支援事業:772m 					
CHECK:分析	林業事業者等の積極的な取組により開設が着実に進捗している。					
ACTION:今後の対応	森林作業道の開設に対する支援を継続的に実施するとともに、自然災害に強く合自然的な線形になるように必要に応じて予定線形の事前踏査に同行する。					

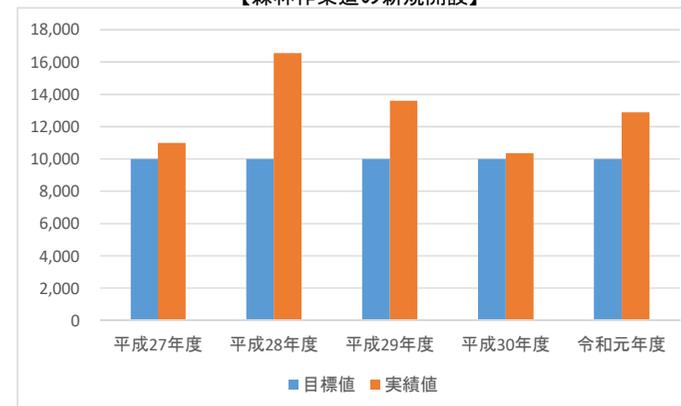
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【森林作業道の新規開設】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

31

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	イ	林業の振興					
	①	林業生産活動の効率化・活性化					
項目	★	林道整備(開設)					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
土木課、吾北建設課、本川産業建設課	★林道整備(開設)	1,300	m	—	m		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		2,191	1,440	2,009	1,240	1,300	m
実績値		2,058	1,959	1,542	1,463	758	m
目標に対する達成率		94%	136%	77%	118%	58%	単年度目標
基準値に対する増減率		—	—	—	—	—	
評価		△	◎	△	◎	△	
PLAN:取組内容	適正な森林管理を行い、木材の安定供給や更なる原木増産を実現するための路網整備						
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ●森林環境保全整備事業(林業専用道程野敷楨線開設工事) L=425m ●森林環境保全整備事業(林業専用道約東田線開設工事) L=145m ●森林環境保全整備事業(林業専用道戸中程野線開設工事) L=188m 						
CHECK:分析	事業執行にあたり、着実に林内路網整備は実現し、林業専用道程野敷楨線については完了となり、新たに林業専用道約東田線の開設が実施された。						
ACTION:今後の対応	適正な森林管理や木材の安定供給など森林資源を有効に活用するため、新たな林内路網整備を計画するなど、更なる林業振興の発展に向けて路網整備の推進を図っていく。						

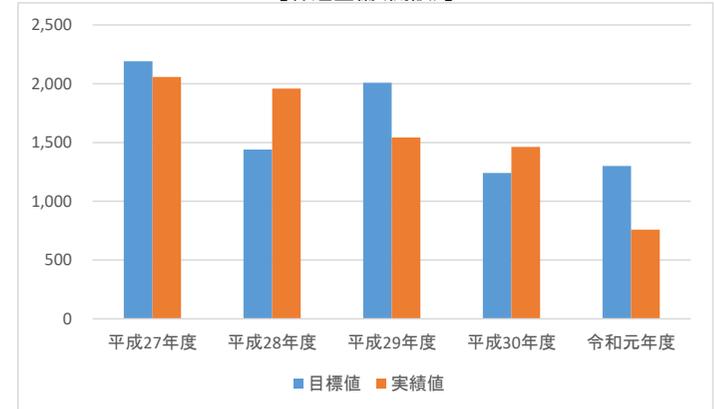
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【林道整備(開設)】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	イ 林業の振興					
	① 林業生産活動の効率化・活性化					
項目	★ 間伐の実施 保育【H28年度見直しにより移動】					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★間伐の実施 保育【H28年度見直しにより移動】	200	ha	190	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	230	200	200	200	200	ha
実績値	190.00	71.50	118.67	45.07	61.69	ha
目標に対する達成率	83%	36%	59%	23%	31%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-62%	-38%	-76%	-68%	
評価	○	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	持続可能な森林経営の実現（森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、緊急間伐総合支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ●「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:43.09ha ●「吉野川」水源の森整備事業:18.60ha 					
CHECK:分析	森林作業道の整備が遅れたこと等により、当初の予定より間伐面積が減少したものの、平成30年度に比べると増加した。					
ACTION:今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保育間伐の担い手の中心となる高知中央森林組合との定期協議を今後とも開催し、保育間伐が必要な箇所の洗い出しとその実行に向けた体制づくりへの支援を継続する。 ・引き続き、町の広報やホームページにおいて、森林整備の支援制度の周知を行う。 					

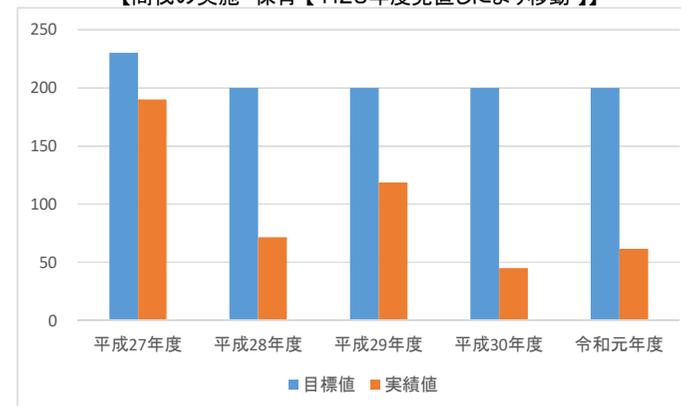
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【間伐の実施 保育【H28年度見直しにより移動】】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	イ 林業の振興					
	① 林業生産活動の効率化・活性化					
項目	★ 間伐の実施 搬出【H28年度見直しにより移動】					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★間伐の実施 搬出【H28年度見直しにより移動】	100	ha	26	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	60	80	80	100	100	ha
実績値	78.00	60.15	28.48	53.31	45.64	ha
目標に対する達成率	130%	75%	36%	53%	46%	単年度目標
基準値に対する増減率	200%	131%	10%	105%	76%	
評価	◎	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	持続可能な森林経営の実現（森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、緊急間伐総合支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ●「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業:30.93ha ●「吉野川」水源の森整備事業:13.59ha ●森林整備緊急対策支援事業:1.12ha 					
CHECK:分析	森林作業道の整備が遅れたこと等により、当初の予定よりも間伐面積が減少した。					
ACTION:今後の対応	今後とも林業事業者等への支援を継続的に実施する。					

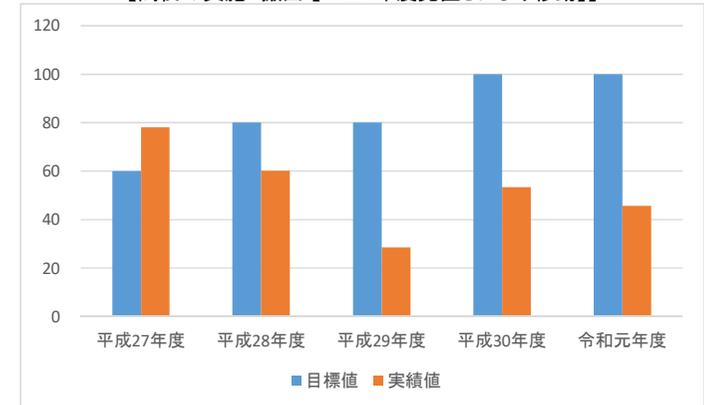
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【間伐の実施 搬出【H28年度見直しにより移動】】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業生産活動の効率化・活性化				
項目	★	再造林の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★再造林の実施	30	ha	21	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	17	30	30	30	30	ha
実績値	18	31.4	15.94	22.74	34.27	ha
目標に対する達成率	106%	105%	53%	76%	114%	単年度目標
基準値に対する増減率	-14%	50%	-24%	8%	63%	
評価	△	◎	△	△	◎	
PLAN:取組内容	持続可能な森林経営の実現（森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、緊急間伐総合支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	●森林(もり)づくり交付金事業:34.27ha					
CHECK:分析	国・県に併せて町独自の支援を行うことで着実に再造林が進んでいる。					
ACTION:今後の対応	再造林への支援の継続と支援策の広報に努める。					

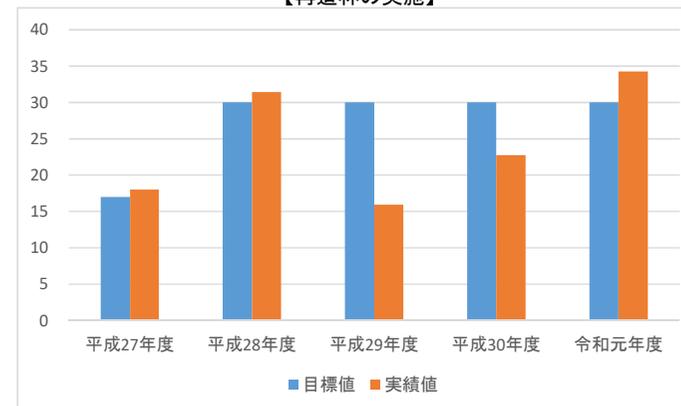
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【再造林の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 35

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業生産活動の効率化・活性化				
項目	★	下刈りの実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★下刈りの実施	60	ha	0	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	60	60	60	60	60	ha
実績値	44	45.3	49.23	44.68	36.29	ha
目標に対する達成率	73%	76%	82%	74%	60%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	4400%	4534%	4923%	4468%	3629%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	持続可能な森林経営の実現（森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、緊急間伐総合支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	●森林(もり)づくり交付金事業:36.29ha					
CHECK:分析	国・県の補助事業で実行経費をまかなえた箇所があったため、当該補助事業の実績が少なくなった。					
ACTION:今後の対応	森林整備が適切に実施されるよう今後とも支援を継続する。					

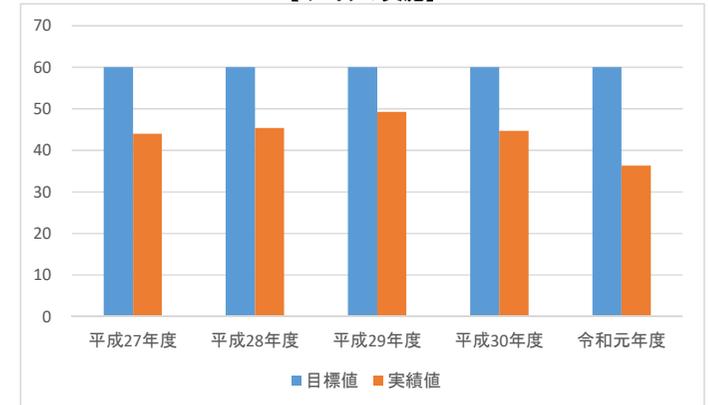
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【下刈りの実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	①	林業生産活動の効率化・活性化				
項目	★	枝打ちの実施【H28年度見直しにより追加】				
担当課	重要業績評価指標(KPI)			基準値:平成26年度		
	令和元年度			実績等		
森林政策課	★枝打ちの実施【H28年度見直しにより追加】	5	ha	0	ha	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	4	5	5	5	ha
実績値	0	0	0	0	2.23	ha
目標に対する達成率	-	0%	0%	0%	45%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	223%	
評価		△	△	△	△	
PLAN:取組内容	持続可能な森林経営の実現（森林(もり)づくり交付金事業、「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業、緊急間伐総合支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	●森林(もり)づくり交付金事業:2.23ha					
CHECK:分析	国・県の補助事業と併せて枝打ちに対する町独自の支援を行った。					
ACTION:今後の対応	森林整備が適切に実施されるよう今後とも支援を継続する。					

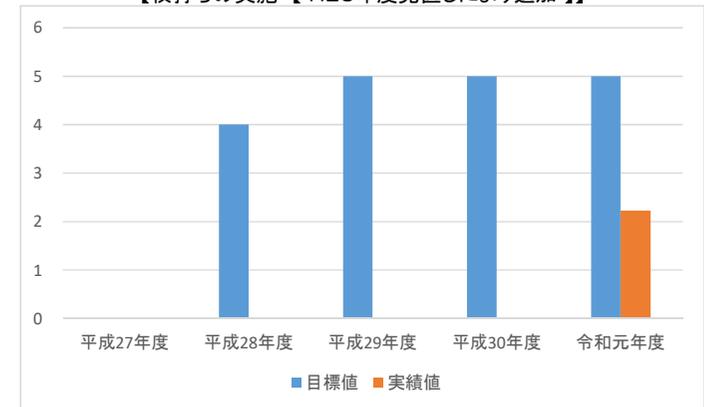
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【枝打ちの実施【H28年度見直しにより追加】】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	②	森林経営の担い手育成と産学官連携の推進				
項目	★	新規林業就業者【H28年度見直しにより追加】				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者【H28年度見直しにより追加】	7	人	0	人	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	0	6	6	7	7	人
実績値	11	5	9	1	6	人
目標に対する達成率	1100%	83%	150%	14%	86%	単年度目標
基準値に対する増減率	1100%	500%	900%	100%	600%	
評価	◎	△	◎	△	△	
PLAN:取組内容	新規林業就業者への研修支援（林業労働力確保育成支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	4事業体で6名採用されている。					
CHECK:分析	H30年度実績 採用人数:1人と比較し5人増。 各林業事業体は年間を通じて職員募集を行っている。					
ACTION:今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を展開する。					

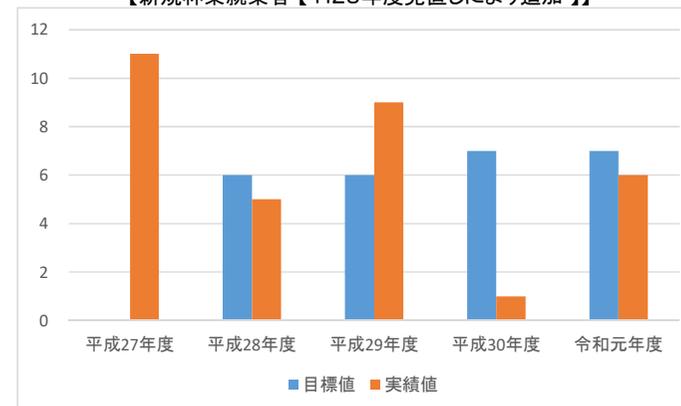
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規林業就業者【H28年度見直しにより追加】】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	②	森林経営の担い手育成と産学官連携の推進				
項目	★	新規林業就業者への研修支援				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★新規林業就業者への研修支援	20	人	9	人	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	11	15	18	19	20	人
実績値	11	13	19	13	11	人
目標に対する達成率	100%	87%	106%	68%	55%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	22%	44%	111%	44%	22%	
評価	◎	△	◎	△	△	
PLAN:取組内容	新規林業就業者への研修支援（林業労働力確保育成支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	●1年目:6人 ●2年目:1人 ●3年目:4人					
CHECK:分析	H30年度実績と比較し1年目の採用人数が5人増、2年目6人減、3年目1人減。 各林業事業体は年間を通じて職員募集を行っており、令和元年度の新規採用人数は増加となった。					
ACTION:今後の対応	林業担い手の確保に向けた支援を図るとともに、引き続き林業従事者の育成、労働災害防止等への支援を展開する。					

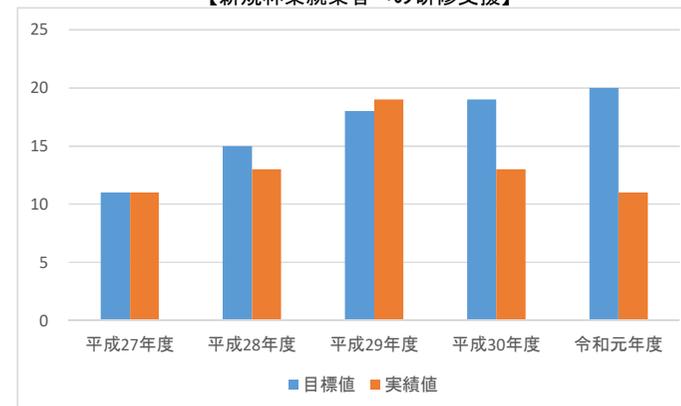
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規林業就業者への研修支援】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	イ	林業の振興				
	②	森林経営の担い手育成と産学官連携の推進				
項目	★	共同試験の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
森林政策課	★共同試験の実施	4	箇所	1	箇所	
目標値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
実績値	1	3	3	4	4	箇所
目標に対する達成率	100%	100%	133%	125%	150%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	200%	300%	400%	500%	
評価	○	○	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	新規林業就業者への研修支援（林業労働力確保育成支援事業）等					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<ul style="list-style-type: none"> ●(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター、(有)伊藤林業及び町の共同試験地:3箇所 ●(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター及び町の共同試験地:3箇所 					
CHECK:分析	試験地の管理及び調査については適切に実施している。平成31年4月17日(国研)森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センターと町の2者で、共同試験に係る覚書を締結し、本川地区の町有林において、アカマツの広域産地試験地を新たに設定した。					
ACTION:今後の対応	町有林内の試験地については適正な管理を行うとともに、調査への積極的な協力を行う。					

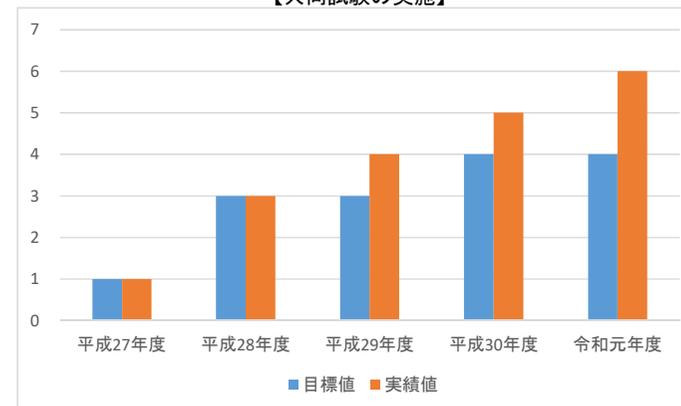
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【共同試験の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 43

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興					
	①	企業立地の推進・支援 新規立地件数（H24～H27 累計）					
項目	★	新規立地件数（H24～H27 累計）					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課	★新規立地件数（H24～H27 累計）	2	件	1	件		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		1	0	0	1	2	件
実績値		0	0	0	0	1	件
目標に対する達成率		0%	0%	0%	0%	50%	単年度目標
基準値に対する増減率		-100%	-100%	-100%	-100%	0%	
評価		△	○	○	△	△	
PLAN: 取組内容	企業立地の取り組み						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	枝川・八代に高知食糧たまごセンターが操業した。						
CHECK: 分析	今後も新しい会社設立の動きはある。						
ACTION: 今後の対応	先進事例を基に、規制緩和により企業立地の働きかけを推進する。						

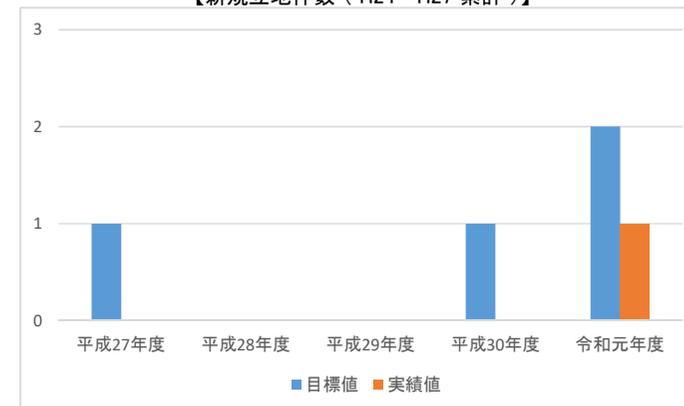
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【新規立地件数（H24～H27 累計）】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1) 地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ ものづくりや地元産業の振興					
	② 紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
項目	★ 伊野製紙工業会会員の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★伊野製紙工業会会員の売上		20,735	百万円	20,735	百万円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	20,735	20,735	20,735	20,735	20,735	百万円
実績値	21309.8	21,572	22,920	23,630	23,319	百万円
目標に対する達成率	103%	104%	111%	114%	112%	単年度目標
基準値に対する増減率	3%	4%	11%	14%	12%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	紙産業の振興 伊野製紙工業会会員の売上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	平成31年度 ・19社 ・町内17社について 年間売り上げ総額 233億1千9百万円 正規従業員(常勤役員含む) 853人					
CHECK:分析	厳しい経済情勢の中、コストの引き下げ、付加価値の増加等によって収益の確保に努力している。					
ACTION:今後の対応	若手後継者の育成を支援し、土佐和紙の開拓、愛好家の増加を図る。さらなる環境改善に取り組み、売上増を目指す。					

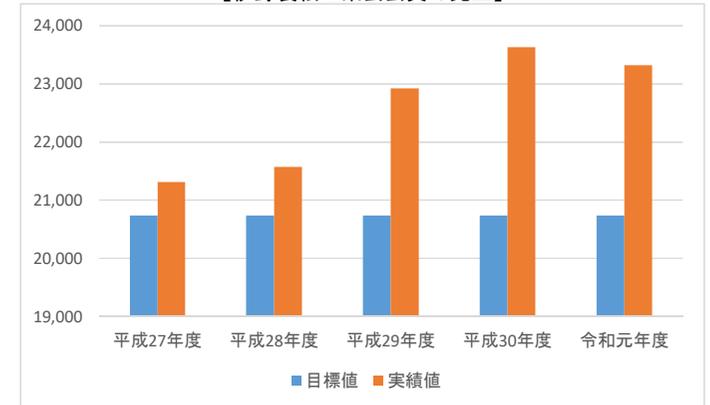
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【伊野製紙工業会会員の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 45

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する					
基本的方向	(1)	地産の強化を図る					
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興					
	②	紙産業の振興 高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上					
項目	★	高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
産業経済課	★高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上	1,700	万円	1,355	万円		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		1,400	1,400	1,500	1,600	1,700	万円
実績値		1,351.9	1,213	1,214	1,083	906	万円
目標に対する達成率		97%	87%	81%	68%	53%	単年度目標
基準値に対する増減率		0%	-10%	-10%	-20%	-33%	
評価		△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	紙産業の振興 高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上						
DO:実績 (事業内容等を記載)	31年度紙の博物館の売上 9,055,518円(前年比△1,772,530円)						
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> ・入場者数が年々減少していることに合わせて販売コーナーの売上額も減少している。 ・開催する企画展、特別展の内容により入場者数に影響がある。 ・入場料が有料であるため来場者の負担が大きいと展示会の開催を見送る場合がある。 ・新型コロナウイルスの影響により1~3月時の団体客のキャンセルが相次いだ。※人数 約680名 ・特に大型イベント「かみのひなまつり」の中止による団体客のキャンセルが大きく影響している。 						
ACTION:今後の対応	<p>令和2年4月より販売コーナーが高知県手すき和紙協同組合への委託から町の直営となることによりディスプレイの変更や、紙の作り手が見える売り場づくり、紙の用途の紹介等、紙について見て触って活用できる仕組みづくりを取り入れることができるようになった。また、今までになかった町の特産品等土佐和紙だけでなく町の良さも発信していく。</p> <p>販売コーナーは無料で利用できるため周知方法を工夫しPRする。</p> <p>入場者数の減少が影響しているため展示会の内容、料金等も併せて検討し入場者数の増加に努める。</p>						

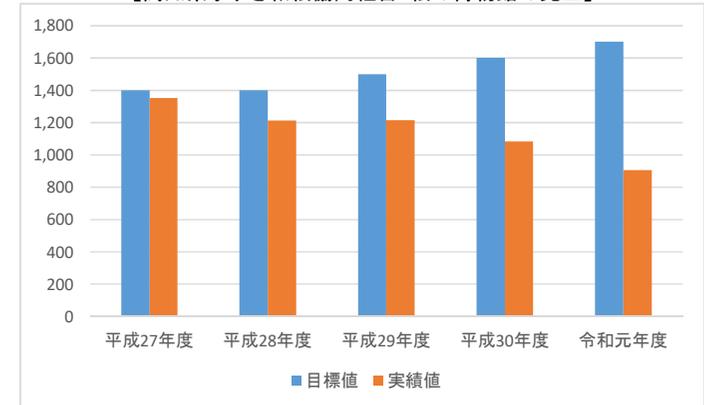
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【高知県手すき和紙協同組合・紙の博物館の売上】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 46

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	ウ	ものづくりや地元産業の振興				
	②	紙産業の振興 手すき職人数				
項目	★	手すき職人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★手すき職人数	8	人	8	人	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	8	8	8	8	8	人
実績値	8	8	7	7	6	人
目標に対する達成率	100%	100%	88%	88%	75%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%	-13%	-13%	-25%	
評価	○	○	△	△	△	
PLAN:取組内容	紙産業の振興 手すき職人数					
DO:実績 (事業内容等を記載)	手すき職人 6名					
CHECK:分析	1名高齢のため組合を脱退した。 昨年度から長期研修をスタートした研修生が1名おり、研修後は手すき職人として土佐和紙の産業振興に携わってもらう。					
ACTION:今後の対応	現在町内の手すき和紙協同組合員は減少しているが、新たに職人を目指す研修生を育成を行っている、今後も、職人を目指す人材の掘り起こしや職人育成のプログラムの検証など、手すき和紙協同組合と連携して行っていく。					

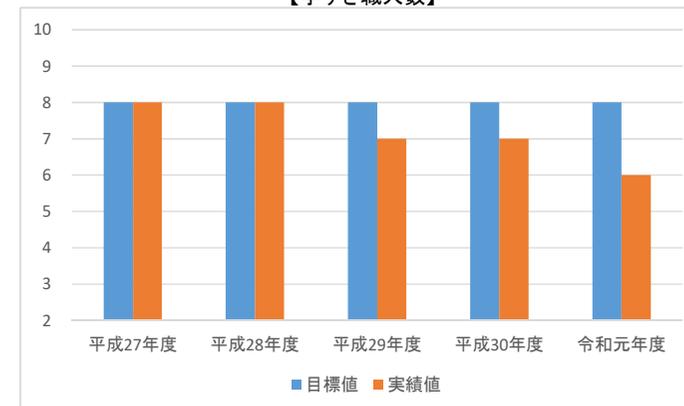
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【手すき職人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

47

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
項目	①	地産地消の徹底 直販店の販売額				
項目	★	直販店の販売額				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課・吾北産業課・本川産業建設課	★直販店の販売額	27,000	万円	11,194	万円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	11,200	11,200	26,900	26,950	27,000	万円
実績値	26,800	26,830	25,760	25,500	25,110	万円
目標に対する達成率	239%	240%	96%	95%	93%	単年度目標
基準値に対する増減率	139%	140%	130%	128%	124%	
評価	◎	◎	△	△	△	
PLAN:取組内容	新規部員の獲得や、直販部員によるイベントの実施、他主催のイベントへ参加し集客および知名度向上に努めた。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	紙博直販所	12.6	いの町本川直販所	5.4		
	JAコスモス伊野直販所	22.1	伊野町農産物直販所	50.3		
	レストパークいの	67	9カ所合計			251.1
	工芸村特産センター	15.4				
	水辺の駅 あいの里 仁淀川 直販所	8.7				
	ふれあいの里柳野	2.9				
	道の駅633美の里物産館	66.7				
CHECK:分析	イベントの開催や他主催のイベントに参加することで集客や知名度アップで売上増を図ったが、目標を達成できなかった。					
ACTION:今後の対応	今後も新規部員の増加をはかり、イベントの開催等により集客率および販売額の増加に努める。					

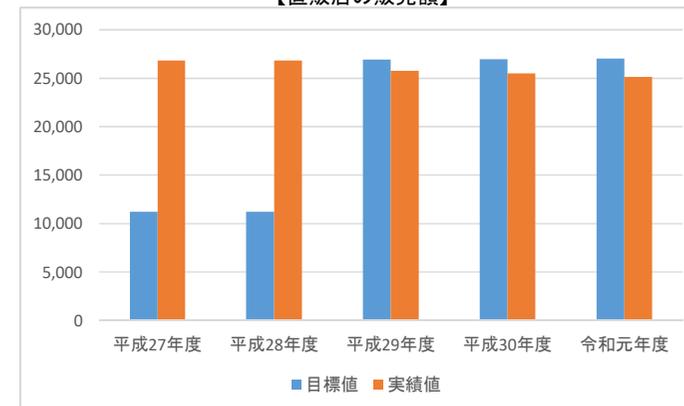
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【直販店の販売額】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(1)	地産の強化を図る				
具体的な施策	エ	地産地消の徹底				
	①	地産地消の徹底 学校給食の食材における地場産物の活用割合（食品数ベース） H22				
項目	★	学校給食の食材における地場産物の活用割合（食品数ベース） H22				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会	★学校給食の食材における地場産物の活用割合（食品数ベース） H22		75.0	%	44.9	%
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	0.0	0.0	75.0	75.0	75.0	%
実績値	71.3	72.4	59.5	64.4	72.8	%
目標に対する達成率	7130%	7240%	79%	86%	97%	
基準値に対する増減率	59%	61%	33%	43%	62%	
評価			△	△	△	
PLAN:取組内容	学校、幼稚園、保育園の給食食材における県内産品の活用割合（食品数ベース→重量ベースに変更					
DO:実績 (事業内容等を記載)	上記実績のとおり。保育園・認定こども園 68.5%、学校 74.0%。					
CHECK:分析	<p>※地域食材の使用状況調査ではあるが、町産ではなく、高知県産の調査となる。</p> <p>学校は、一昨年度、実績値が下がったことを各学校栄養士に報告し、取組実施の依頼、地場産物の活用について献立の工夫等協力をお願いした。昨年度は、伊野給食センターが稼働したこともあり、紙博直販やJAに対して、地場産品の取り扱いについて働きかけを行ったところ、目標値に近づけることが出来た。</p> <p>保育園・認定こども園では献立を県内産になるよう組み立て、県外産の食材が多くなる場合は食材を変更するなどその都度対応していった。青果類の納入業者に関しては、町外の業者との取引が主になっているが、そのなかでも県内産を中心に食材を選んでいくことで使用割合を増やすことができた。</p>					
ACTION:今後の対応	今後も可能な限り町内産品および県内産品を活用するようにし、地場産品を扱う業者にこれまでどおり働きかけていきたい。					

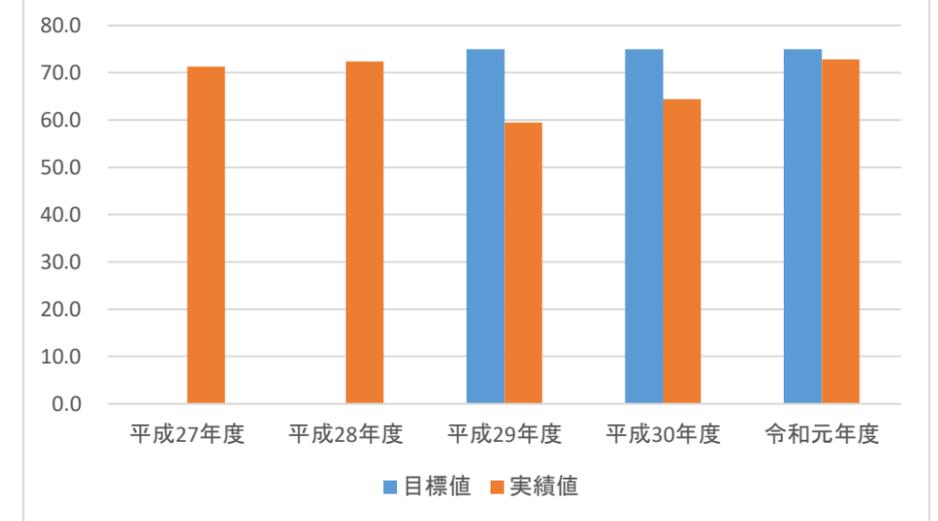
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【学校給食の食材における地場産物の活用割合（食品数ベース） H22】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	1 地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2) 外商の強化を図る				
具体的な施策	ア 観光振興				
項目	① 仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくり 体験型プログラム参加人数				
担当課	★ 体験型プログラム参加人数				
産業経済課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度
	令和元年度				実績等
	★体験型プログラム参加人数				25,000 人
	令和元年度				20,849 人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000
実績値	26,767	26,015	26,493	27,546	28,428
目標に対する達成率	127%	118%	115%	115%	114%
基準値に対する増減率	28%	25%	27%	32%	36%
評価	◎	◎	◎	◎	◎
PLAN: 取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 (仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業)				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 (仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業)				
CHECK: 分析	事業を予定通り実施したことによりKPIが達成できた。				
ACTION: 今後の対応	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の減少が確実視される。しかしながら状況がある程度落ち着いた段階では国内観光需要の高まりが予想されるため、仁淀ブルー観光協議会と連携して仁淀川のPRを積極的に行い、確実に需要を取り込んでいく。				

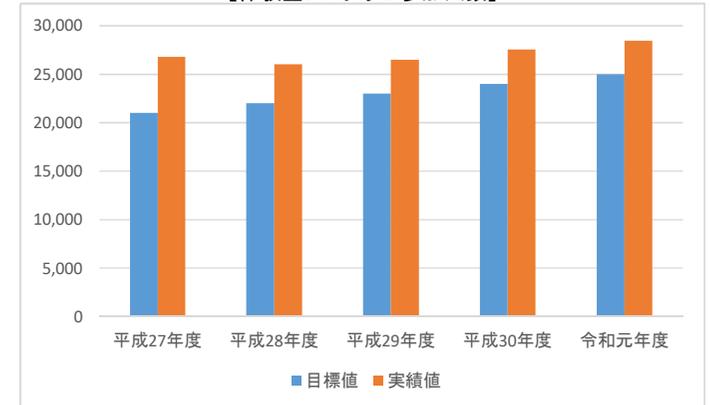
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【体験型プログラム参加人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1 連番 50

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(2)	外商の強化を図る				
具体的な施策	ア	観光振興				
	①	仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくり 体験料収入				
項目	★	体験料収入				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★体験料収入	40,000		千円		
		体験料収入	体験料収入	29,946	千円	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	30,000	30,500	31,000	40,000	40,000	千円
実績値	46,849	52,486	50,704	51,718	56,687	千円
目標に対する達成率	156%	172%	164%	129%	142%	単年度目標
基準値に対する増減率	56%	75%	69%	73%	89%	
評価	◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 (仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	■「奇跡の清流仁淀川」流域の広域観光推進 (仁淀ブルーを活用したDMO観光地域づくりの連携事業)					
CHECK: 分析	事業を予定通り実施したことによりKPIが達成できた。					
ACTION: 今後の対応	新型コロナウイルス感染症の影響により観光客の減少が確実視され、特に害個人観光客の受け入れに関しては絶望的な状況である。しかし状況がある程度落ち着いた段階では国内観光需要の取り込みが各地で激化することが予想されるため仁淀ブルー観光協議会とも連携し、仁淀川のPRを積極的に行い、体験料収入の減少を抑制する。					

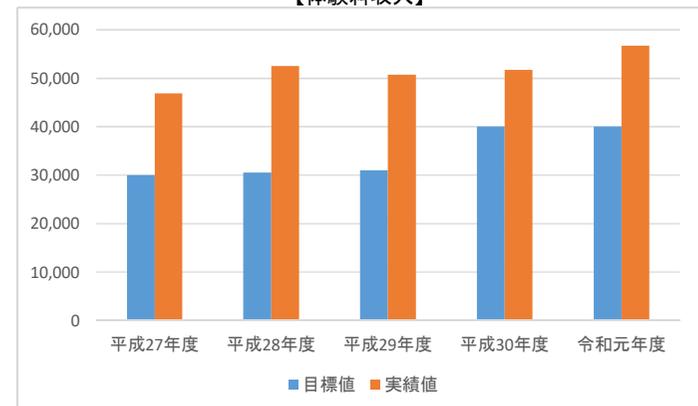
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【体験料収入】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標1

連番

55

基本目標	1	地産外商により安定した雇用を創出する				
基本的方向	(3)	地産外商の成果を拡大再生産につなげる				
具体的な施策	イ	人財の育成				
	①	各領域の専門家集団の養成 大学等との連携した事業展開検討				
項目	★	大学等との連携した事業展開検討				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
総合政策課	★大学等との連携した事業展開検討	3	件	0	件	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	1	1	1	2	3	件
実績値	1	2	3	2	2	件
目標に対する達成率	100%	200%	300%	100%	67%	単年度目標
基準値に対する増減率	100%	200%	300%	200%	200%	
評価	○	◎	◎	○	△	
PLAN:取組内容	高知大学地域連携推進センターとの連携した取り組み					
DO:実績 (事業内容等を記載)	昨年度に引き続き是友地区、柳野地区で連携し事業に取り組んだ。					
CHECK:分析	活発的に活動されている地区は、高知大学との連携した取り組みを行い、広がりを見せているものの、その他の活動については、大学とのマッチングの機会や連携事業等の話し合いもなかった。					
ACTION:今後の対応	活発的に活動されている地区に対しては引き続き働きかけを行うほか、その他の地区以外で実施できるよう、地域や高知大学にアプローチを実施していき、マッチングできるよう取り組んでいく。					

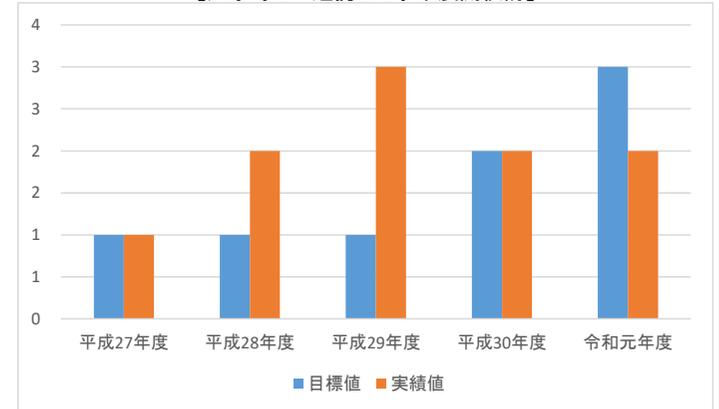
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【大学等との連携した事業展開検討】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

総合戦略効果検証シート 基本目標2

基本目標2. 新しい人の流れをつくる【町民を対象とした「心の教育」の実践・移住促進・人財・企業等の確保】

番号	具体的な施策(詳細)	H26基準実績等	単位	H27目標	H27実績	H28目標	H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	R元年度目標値	R元年度実績値	総合評価
1	Q-Uによる学級満足度群の児童生徒の割合	65.2	%	-	-	80.0	57.5	80.0	63.3	80.0	59.1	80.0	60.5	△
2	「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	H28創設	%以上	-	-	80.0	72.0	80.0	79.7	80.0	80.8	90.0	76.3	△
3	教師塾菊池寺子屋の参加延べ人員	H28創設	人以上	-	-	300	625	300	373	300	462	300	318	◎
4	いの町ホームページへのアクセス数	-	回	-	-	10,000	10,410	10,000	21,014	10,000	31,562	10,000	43,502	◎
5	移住相談者数	26	人以上	300	93	300	253	300	401	300	517	300	508	◎
6	移住相談後、いの町を案内した人数	0	人以上	50	-	50	59	50	34	50	35	50	21	△
7	「教師のたまごセミナー」等県外からの参加者数	H28創設	人以上	-	-	200	63	200	78	200	61	200	28	△
8	県外からの移住者数	10	組	10	9	10	4	10	4	10	12	10	12	◎
9	町外から山村留学生新規留学生数	3	人	-	-	3	4	3	4	3	5	3	7	◎
10	実践家の勉強会に参加するための町外からの移住者数	H28創設	人	-	-	2	5	4	9	6	9	10	9	△
11	中心市街地 新規開業事業所数	2	事業所	3	2	4	0	6	5	8	7	10	7	△

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

1

基本目標	2 新しい人の流れをつくる					
基本的方向	(1) 町民を対象とした「心の教育」の実践					
具体的な施策	(ア) 町民を対象とした「心の教育」の実践					
項目	① 子どもの「心の教育」がもたらす大人への影響 Q-Uによる学級満足度群の児童生徒の割合					
項目	★ Q-Uによる学級満足度群の児童生徒の割合					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★Q-Uによる学級満足度群の児童生徒の割合	80.0	%以上	65.2	%以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	80.0	80.0	80.0	80.0	%以上
実績値	-	57.5	63.3	59.1	60.5	%以上
目標に対する達成率	-	72%	79%	74%	76%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-12%	-3%	-9%	-7%	
評価		△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	<p>・教育実践家である菊池省三氏を教育特使として迎え入れ、「自尊感情を高める」、「コミュニケーション能力の向上」、「基礎学力の定着・向上」などの教育目標達成に向けた「心の教育」を実践し、幼少期からの人財育成を強化していく。</p> <p>・教育特使が町内小中学校を巡回しての師範授業や授業を参観し、その振り返りを校内研修などの場において、教職員への指導や助言を行う菊池学級を実施していく。そのことにより、授業、学級、学校において、豊かな人間性を育む「心の教育」を実践していく教職員を育成していく。</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>「菊池学級」・・・教育特使が各校を巡回し、教職員の指導方法への指導・助言を行った。また、師範授業を行い、子どもたちに直接指導を行った。(32回/36日中)また、本事業の中心校(伊野小学校)を設置し、学期に1回の担当者会で、中心校の実践を共有し、各校での追実践を行った。</p> <p>「菊池寺子屋」・・・保育士、教職員を対象とした学びの場を開催した。教育特使が長年培ってきた教育実践について学び、子どもの自尊感情やコミュニケーション能力を高める指導方法などを理解、習得することで教職員の資質向上を図った。(述べ参加者数318名)</p>					
CHECK: 分析	<p>中心校の取組の波及を狙っていたが、満足群の割合は昨年度より若干上昇にとどまり、目標値に到達しなかった。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>次年度からはぶっくりハート育成推進事業として、特に、中学校での割合が低いため、中学校を中心に対応していく。</p>					

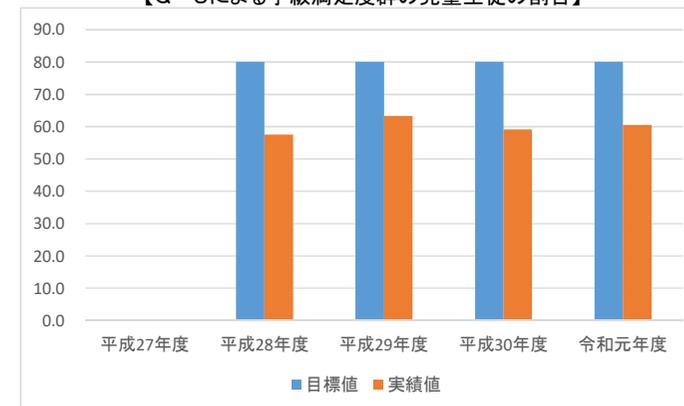
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【Q-Uによる学級満足度群の児童生徒の割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2 連番 2

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(1)	町民を対象とした「心の教育」の実践				
具体的な施策	(ア)	町民を対象とした「心の教育」の実践				
項目	★	全国学力学習状況調査児童生徒質問紙での「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合	90.0	%以上	H28創設	%以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	80.0	80.0	80.0	90.0	%以上
実績値	-	72.0	79.7	80.8	76.3	%以上
目標に対する達成率	-	90%	100%	101%	85%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		△	○	◎	△	
PLAN:取組内容	<p>・教育実践家である菊池省三氏を教育特使として迎え入れ、「自尊感情を高める」、「コミュニケーション能力の向上」、「基礎学力の定着・向上」などの教育目標達成に向けた「心の教育」を実践し、幼少期からの人財育成を強化していく。</p> <p>・教育特使が町内小中学校を巡回しての師範授業や授業を参観し、その振り返りを校内研修などの場において、教職員への指導や助言を行う菊池学級を実施していく。そのことにより、授業、学級、学校において、豊かな人間性を育む「心の教育」を実践していく教職員を育成していく。</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>「菊池学級」・・・教育特使が各校を巡回し、教職員の指導方法への指導・助言を行った。また、師範授業を行い、子どもたちに直接指導を行った。(32回/36日中)また、本事業の中心校(伊野小学校)を設置し、学期に1回の担当者会で、中心校の実践を共有し、各校での追実践を行った。</p> <p>「菊池寺子屋」・・・保育士、教職員を対象とした学びの場を開催した。教育特使が長年培ってきた教育実践について学び、子どもの自尊感情やコミュニケーション能力を高める指導方法などを理解、習得することで教職員の資質向上を図った。(述べ参加者数318名)</p>					
CHECK:分析	<p>中心校である伊野小学校と同じ小学校の数値は上昇していたが、中学校の数値が減少したため、昨年度よりも減少し、目標値に到達しなかった。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>次年度からはぶっくりハート育成推進事業として、特に、中学校での割合が低いため、中学校を中心に対応していく。</p>					

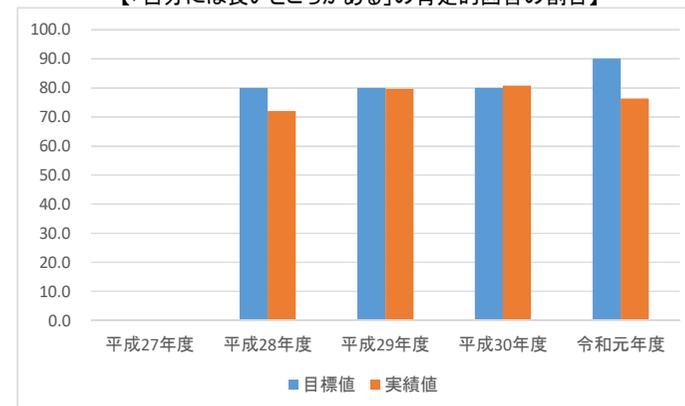
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【「自分には良いところがある」の肯定的回答の割合】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

3

基本目標	2	新しい人の流れをつくる					
基本的方向	(1)	町民を対象とした「心の教育」の実践					
具体的な施策	(ア)	町民を対象とした「心の教育」の実践					
項目	①	子どもの「心の教育」がもたらす大人への影響 教師塾菊池寺子屋の参加延べ人員					
項目	★	教師塾菊池寺子屋の参加延べ人員					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
教育委員会事務局	★教師塾菊池寺子屋の参加延べ人員	300	人以上	H28創設	人以上		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	300	300	300	300	300	人以上
実績値	-	625	373	462	318	318	人以上
目標に対する達成率	-	208%	124%	154%	106%	106%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	<p>・教育特使が来町した夜間を活用して、教員等(町内在住の教員・保育士を含む。以下同じ)を対象に、授業観、授業論、授業術を転換し、教育目標達成を目指した「心の教育」のやり方や考え方を、さらに深く学んでもらうことを目的とした教師塾菊池寺子屋を開催していく。</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>・「菊池寺子屋」…保育士、教職員を対象とした学びの場を開催した。教育特使が長年培ってきた教育実践について学び、子どもの自尊感情やコミュニケーション能力を高める指導方法などを理解、習得することで教職員の資質向上を図った。(述べ参加者数318名)</p>						
CHECK: 分析	<p>熱心に欠かさず参加してくれる先生が増えてきたこともあり、目標値に到達した。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>次年度からはぶっくりハート育成推進事業として、より参加しやすい環境を整えていく。</p>						

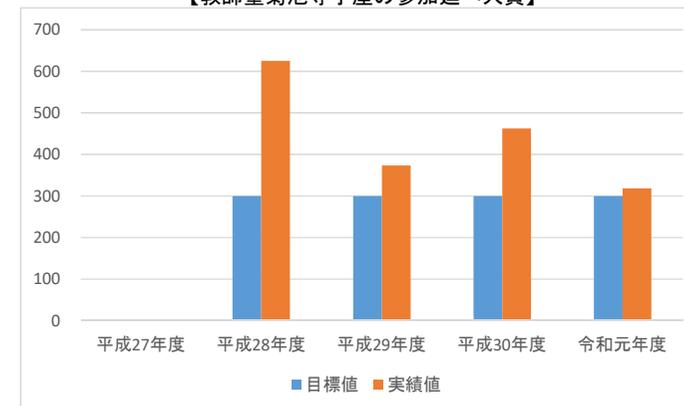
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【教師塾菊池寺子屋の参加延べ人員】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

4

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	移住促進				
具体的な施策	(ア)	移住促進				
項目	①	「いの町を知ってもらおう！」ための取り組み いの町ホームページへのアクセス数				
項目	★	いの町ホームページへのアクセス数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
総合政策課	★いの町ホームページへのアクセス数	10,000	回以上	-	回以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	10,000	10,000	10,000	10,000	回以上
実績値	-	10,410	21,014	31,562	43,502	回以上
目標に対する達成率	-	104%	210%	316%	435%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県開催等の都市圏移住フェアに出展(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 移住・創業支援相談員の配置(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 空き家等荷物整理事業(地方への移住促進・創業支援事業) ■ お試し滞在住宅事業(地方への移住促進・創業支援事業) 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	移住フェア:高知暮らしフェア6月・12月(大阪・東京)に出展し、町のPRを行った。 移住専門相談員2名、空き家調査員1名を配置し、受け入れ態勢の強化を図った。 ホームページ・SNS・チラシ等で情報発信を行った。					
CHECK: 分析	空き家バンク登録件数の増加や田舎暮らしに対する関心の高まり等に伴い、ホームページのアクセス数は年々増加しているものと考えます。					
ACTION: 今後の対応	空き家バンク登録件数の増加を目指し、引き続き移住希望者が求めている物件情報と併せて、町の豊かな自然や生活環境等の情報も併せて発信することで、移住の第1段階である「いの町を知ってもらおう」取組みを今後も実施していく。					

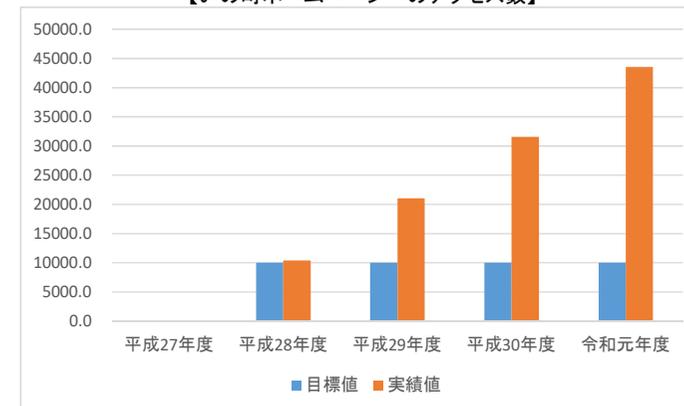
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【いの町ホームページへのアクセス数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

5

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	移住促進				
具体的な施策	(ア)	移住促進				
項目	①	「いの町を知ってもらおう！」ための取り組み 移住相談者数				
項目	★	移住相談者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
総合政策課	★移住相談者数	300	人以上	26	人以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	300	300	300	300	300	人以上
実績値	93	253	401	517	508	人以上
目標に対する達成率	31%	84%	134%	172%	169%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	1442%	1888%	1854%	
評価	△	△	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県開催等の都市圏移住フェアに出展(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 移住・創業支援相談員の配置(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 空き家等荷物整理事業(地方への移住促進・創業支援事業) ■ お試し滞在住宅事業(地方への移住促進・創業支援事業) 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	移住フェア:高知暮らしフェア6月・12月(大阪・東京)に出展し、町のPRを行った。 移住専門相談員2名、空き家調査員1名を配置し、受け入れ態勢の強化を図った。 ホームページ・SNS・チラシ等で情報発信を行った。					
CHECK:分析	ホームページや移住フェアでの情報発信を継続的に行ったことにより、いの町に移住したいという関心の高まりが目標値達成といった結果に表れたと考える。特に空き家バンク新規物件情報をホームページに掲載する際に相談件数が増加した。					
ACTION:今後の対応	引き続き、空き家調査を重点的に行い、空き家バンクの登録件数の増加を図るとともに、移住に対する不安感を払拭し心よく移住できるよう、移住希望者に対し真摯に対応していきたい。 また、令和元年度に2件整備した中間管理住宅の入居募集を行うことと平行して、引き続き中間管理住宅を整備することで、さらなる受け入れ態勢の強化を図る。					

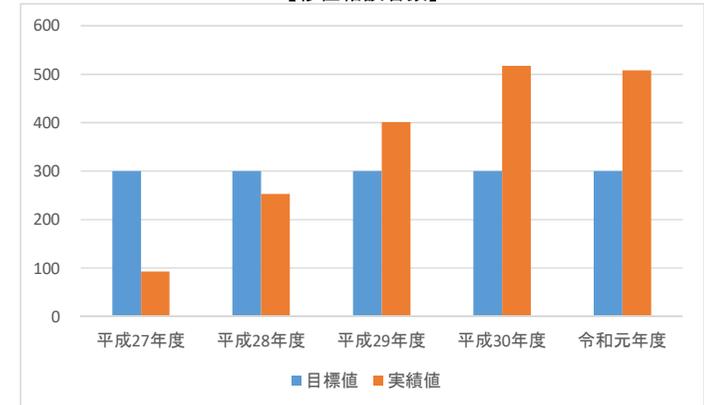
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

6

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	移住促進				
具体的な施策	(ア)	移住促進				
	②	「いの町に関心を持ち、より移住を意識してもらう」ための取り組み 移住相談後、いの町を案内した人数				
項目	★	移住相談後、いの町を案内した人数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
総合政策課	★移住相談後、いの町を案内した人数	50	人以上	- 人以上		
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	50	50	50	50	50	人以上
実績値	-	59	34	35	21	人
目標に対する達成率	-	118%	68%	70%	42%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	△	△	△	
PLAN: 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県開催等の都市圏移住フェアに出展(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 移住・創業支援相談員の配置(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 空き家等荷物整理事業(地方への移住促進・創業支援事業) ■ お試し滞在住宅事業(地方への移住促進・創業支援事業) 					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	移住フェア:高知暮らしフェア6月・12月(大阪・東京)に出展し、町のPRを行った。 移住専門相談員2名、空き家調査員1名を配置し、受け入れ態勢の強化を図った。 ホームページ・SNS・チラシ等で情報発信を行った。					
CHECK: 分析	空き家バンク利用登録申請、移住相談等ニーズはあるものの、相談に対して紹介できる空き家バンクの物件登録件数が少なく、内覧(案内)に結びついていない。					
ACTION: 今後の対応	引き続き、空き家調査を重点的に行い、空き家バンクの登録件数の増加を図るとともに、移住に対する不安感を払拭し心よく移住できるよう、移住希望者に対し真摯に対応していきたい。 また、令和元年度に2件整備した中間管理住宅の入居募集を行うことと平行して、引き続き中間管理住宅を整備することで、さらなる受け入れ態勢の強化を図る。					

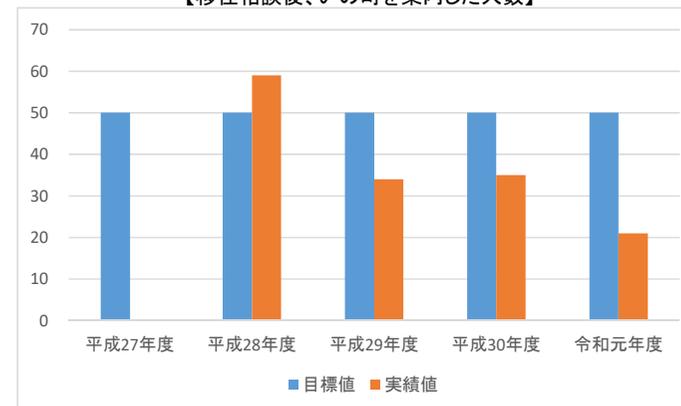
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【移住相談後、いの町を案内した人数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2 連番 7

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	移住促進				
具体的な施策	(ア)	移住促進				
	②	「いの町に関心を持ち、より移住を意識してもらう」ための取り組み 「教師のたまごセミナー」等県外からの参加者数				
項目	★	「教師のたまごセミナー」等県外からの参加者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★「教師のたまごセミナー」等県外からの参加者数	200	人以上	H28創設	人以上	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	200	200	200	200	人以上
実績値	-	63	78	61	28	人以上
目標に対する達成率	-	32%	39%	31%	14%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		△	△	△	△	
PLAN: 取組内容	<p>・教育特使を迎え展開する「菊池学級」「教師塾菊池寺子屋」「大人版 菊池学級」に加え、全国の大学生等呼びかけ「教師のたまごセミナー」を実施し、一連の事業に参加したい、といった学生にいの町への移住をより意識させ、若年者層のよりターゲットを絞った移住促進策を展開していく。</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>・「教師のたまごセミナー」…高知大学学生部担当職員に本事業の趣旨を説明し、周知協力を依頼したところ、大変熱心に周知してくれた。しかし、当日同大学でも任意参加のセミナーが開催されたこともあり、学生の参加は3名、県外からの参加は4名であった。</p> <p>・「教育特使との学び場」…本事業を推進するなかで、教職員だけではなく、児童生徒・保護者・町民と対象を拡大し、全国の実践者や事業の趣旨に賛同してくれる方を招聘した公開研修として、町内外へのPRを図った。(10回目:2名、11回目:22名)</p>					
CHECK: 分析	担当者のSNS等も活用し、広く周知を図ったが目標値には到達しなかった。					
ACTION: 今後の対応	次年度からはぶつくりハート育成推進事業として、県外にこだわらず、町外からの参加者も対象としていく。					

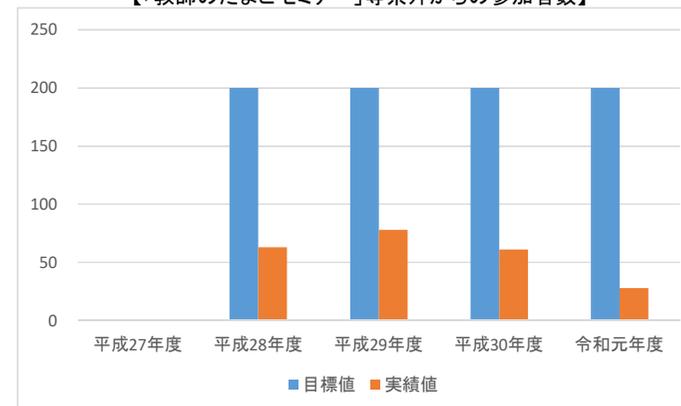
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【「教師のたまごセミナー」等県外からの参加者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(2)	移住促進				
具体的な施策	(ア)	移住促進				
項目	②	「いの町に住み続ける。」ための取り組み 県外からの移住者数				
項目	★	県外からの移住者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
総合政策課	★県外からの移住者数	10	組以上	10	組以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	10	10	10	10	10	組以上
実績値	9	4	4	12	12	組以上
目標に対する達成率	90%	40%	40%	120%	120%	単年度目標
基準値に対する増減率	-10%	-60%	-60%	20%	20%	
評価	△	△	△	◎	◎	
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 県開催等の都市圏移住フェアに出展(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 移住・創業支援相談員の配置(地方への移住促進・創業支援事業) ■ 空き家等荷物整理事業(地方への移住促進・創業支援事業) ■ お試し滞在住宅事業(地方への移住促進・創業支援事業) 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	移住フェア:高知暮らしフェア6月・12月(大阪・東京)に出展し、町のPRを行った。 移住専門相談員2名、空き家調査員1名を配置し、受け入れ態勢の強化を図った。 ホームページ・SNS・チラシ等で情報発信を行った。					
CHECK:分析	空き家バンクの登録数の増加や移住希望者に対し真摯に対応したため、目標を達成することができた。 また、とさ自由学校が開校したことから、入学を希望する方からの移住相談も増え、結果、移住者の増加にも繋がっている。					
ACTION:今後の対応	引続き、空き家調査を重点的に行い、空き家バンクの登録件数を増加を図るとともに、移住に対する不安感を払拭し心よく移住できるよう、移住希望者に対し真摯に対応していきたい。 また、令和元年度に2件整備した中間管理住宅の入居募集を行うことと平行して、引き続き中間管理住宅を整備することで、さらなる受け入れ態勢の強化を図る。					

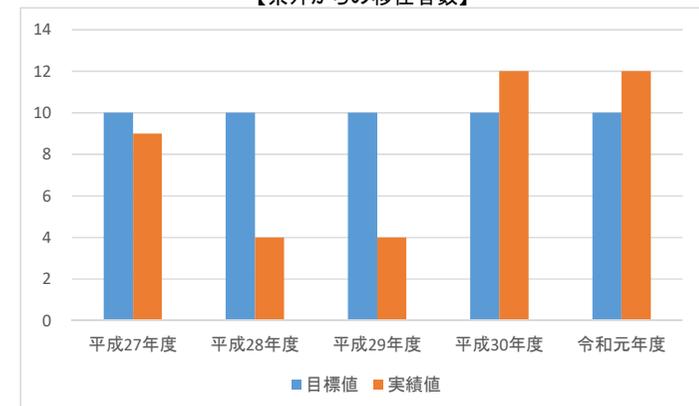
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【県外からの移住者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2 連番 9

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	人財・企業等の確保				
具体的な施策	(ア)	町外からの人財誘致				
	①	人財誘致の促進 町外から山村留学生新規留学生数				
項目	★	町外から山村留学生新規留学生数				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
本川教育事務所	★町外から山村留学生新規留学生数	3	人以上	3	人以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	3	3	3	3	人以上
実績値	-	4	4	5	7	人以上
目標に対する達成率	-	133%	133%	167%	233%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	33%	33%	67%	133%	
評価		◎	◎	◎	◎	
PLAN: 取組内容	■ 本川中学校へのクラブ活動指導者の雇用					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	平成27年度から引き続き、北九州市出身の実力のある女性指導員(第62回九州学生バドミントン選手権大会女子ダブルスの部で優勝経験あり)を受け入れて、バドミントン部活動の充実した学校として中学校のホームページを利用し情報発信を行っている。また、スポーツ学を学んでおり、培った知識を十分に発揮し、地元生も含めて生活面、精神面でのフォローアップもできている。					
CHECK: 分析	年々山村留学希望者が増え、受け入れ生徒も増えた。バドミントン部が魅力で山村留学を希望した生徒も複数いる。また部活動においては、成果が現れてきている。					
ACTION: 今後の対応	引き続き指導員を雇用し、精神面や生活面でも寄り添った指導をすることにより、更なる部活動の強化を図る。今後、地元生が益々少なくなる中、魅力ある学校として取組み、発信することで、更なる留学生確保に努めていく。					

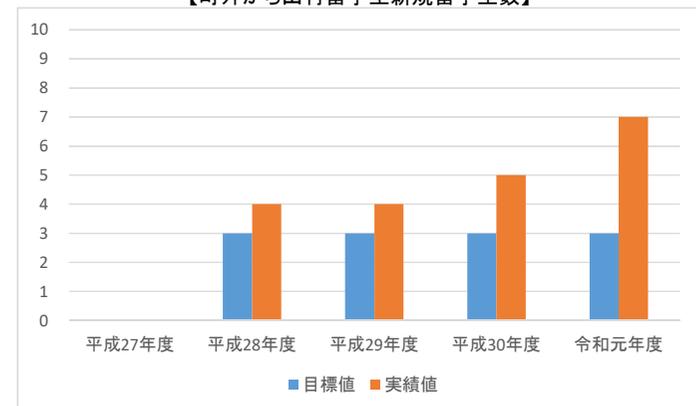
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【町外から山村留学生新規留学生数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標2

連番

10

基本目標	2	新しい人の流れをつくる					
基本的方向	(3)	人財・企業等の確保					
具体的な施策	(ア)	町外からの人財誘致					
項目	①	人財誘致の促進 実践家の勉強会に参加するための町外からの移住者数					
項目	★	実践家の勉強会に参加するための町外からの移住者数					
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
教育委員会事務局	★実践家の勉強会に参加するための町外からの移住者数	10	人以上	H28創設	人以上		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	2	4	6	10	10	人以上
実績値	-	5	9	9	9	9	人以上
目標に対する達成率	-	250%	225%	150%	90%	90%	複数年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	△	△	
PLAN: 取組内容	<p>・「ことば」が育てば「こころ」が育つ。「こころ」が育つと「ひと」が育つ。を合言葉に、自尊感情やコミュニケーション能力を高める教育施策「いの町 菊池学園」を推進する。その推進役として、全国的にも著名な実践家を教育特使として招聘する。</p>						
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>・「菊池寺子屋」…保育士、教職員を対象とした学びの場を開催した。教育特使が長年培ってきた教育実践について学び、子どもの自尊感情やコミュニケーション能力を高める指導方法などを理解、習得することで教職員の資質向上を図った。(述べ参加者数318名)</p>						
CHECK: 分析	<p>これまで以上に効果的なPRができず、目標値に到達しなかった。</p>						
ACTION: 今後の対応	<p>次年度からはぶっくりハート育成推進事業として、教育分野の更なる充実とともに、他課と連携し、教育分野以外のいの町の魅力を一緒にPRしていく。</p>						

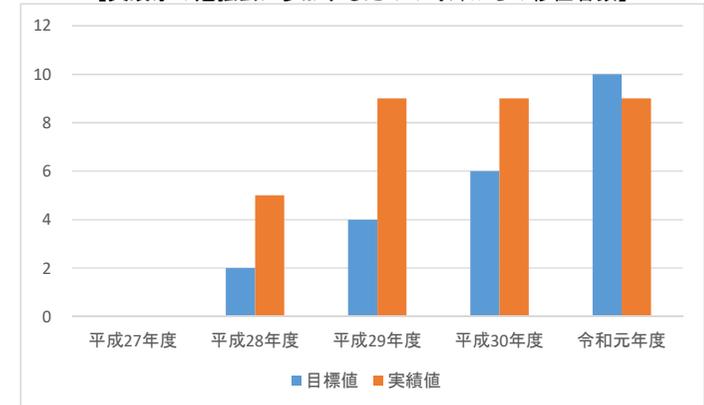
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【実践家の勉強会に参加するための町外からの移住者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

基本目標	2	新しい人の流れをつくる				
基本的方向	(3)	人財・企業等の確保				
具体的な施策	(ア)	町外からの人財誘致				
項目	★	中心市街地 新規開業事業所数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
産業経済課	★中心市街地 新規開業事業所数	10	事業所	2	事業所	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	3	4	6	8	10	事業所
実績値	2	0	5	7	7	事業所
目標に対する達成率	67%	0%	83%	88%	70%	単年度目標
基準値に対する増減率	0%	-100%	150%	250%	250%	
評価	△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 企業立地の取り組み (いの町産業振興奨励金) 等 ■ いの町空き店舗対策家賃補助助成事業 (地方への移住促進・創業支援事業) ■ いの町中心市街地活性化計画を策定 (H30.12月) 					
DO:実績 (事業内容等を記載)	いの町産業振興奨励金 (四電エンジニアリング(株)) を支給した。 高知食糧たまごセンターをいの町産業振興奨励金の支給先として指定した。 いの町空き店舗対策家賃補助助成事業を実施した。 新規開業 ((株)コクバン、コクバンカフェ、GOOD FIVE、いのTERRACE、RIVER COFFEE HOUSE INO、アクアリウムショップ&カフェ BONO、アトリエ ひとてま)					
CHECK:分析	目標値は下回っているが新規開業者は増加傾向にある。 開業に至らないが、空き店舗の情報を聞きに来る事業者がいる。活用できる店舗が少ない。 支援について情報発信力が弱い。					
ACTION:今後の対応	近隣市町村 (高知市等) と連携を図り、支援策の情報発信力を向上させるとともに、商工会と連携して空き店舗の情報収集に努める。					

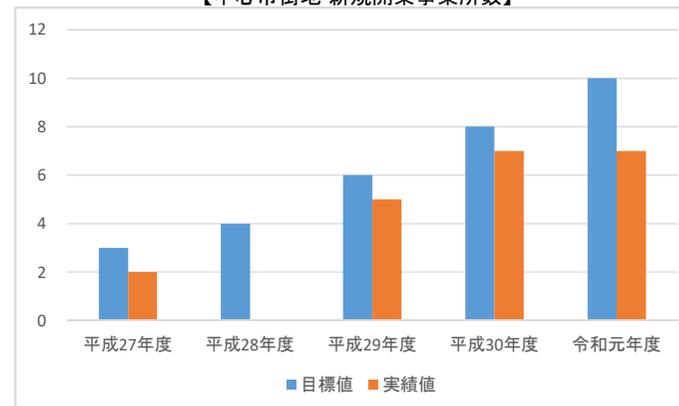
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【中心市街地 新規開業事業所数】



推進委員会による検証評価 (意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

総合戦略効果検証シート 基本目標3

基本目標3. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する【誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進】

番号	具体的な施策(詳細)	H26基準実績等	単位	H27目標	H27実績	H28目標	H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	R元年度目標値	R元年度実績値	総合評価
1	出会いイベント数 [H25 ⇒ 1回]	0	回	4	0	4	3	4	0	4	0	4	3	△
2	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	6,156	人(延べ)	-	7051	7,100	8,491	7,100	6,994	7,100	7,497	7,100	6,828	△
3	子育て支援センター内プレママほっとルームへの来訪者数	H28創設	人	-	-	40	63	40	59	40	207	40	329	◎
5	1歳6か月児健診の受診率 [H25 ⇒ 87. 9%]	100	%	全国水準	98.2	100	101.6	100	99.2	100	98.2	100	98.4	△
6	3歳児健診の受診率 [H25 ⇒ 89. 8%]	100	%	全国水準	98.4	100	100	100	97.5	100	100.8	100	98.1	△
7	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)	1,545	件	-	-	1,545	1,433	1,545	1,881	1,545	1,272	1,545	1,384	◎
8	延長保育(開所時間が11時間を超える保育所等)の実施	1	カ所	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	○
9	乳児保育の実施	4	カ所	4	4	4	5	5	5	6	6	6	6	○
10	一時預かり事業	1	カ所	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	○
11	地域子育て支援拠点事業の実施	1	カ所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	○
12	放課後児童クラブへの主任支援員配置	0	名	-	-	2	2	2	2	2	2	2	2	○
13	放課後子ども教室活動週2回以上開設カ所	0	カ所	-	-	3	5	3	5	5	5	5	5	○
14	4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	H27創設	%以上	-	-	70	99.2	90	93.5	90	98.3	90	97.6	◎
15	4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つ	H27創設	%以上	-	-	80	100	90	100	100	100	100	100	○

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

1

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進					
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築					
項目	★	独身者への総合的な出会いきっかけ支援 出会いイベント数〔H25⇒1回〕					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
総合政策課	★出会いイベント数〔H25⇒1回〕	4	回	0	回		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		4	4	4	4	4	回
実績値		0	3	0	0	3	回
目標に対する達成率		0%	75%	0%	0%	75%	単年度目標
基準値に対する増減率		0%	300%	0%	0%	300%	
評価		△	△	△	△	△	
PLAN:取組内容	独身者への出会いの機会の提供。出会いのきっかけ作りだけでなく、いの町の特色・特産を体験・味わっていただくことで、町の魅力を感じていただけるようなイベントを企画した。						
DO:実績	<p>3回の内、令和元年9月1日、11月10日にイベントを実施した。令和2年3月7日に開催予定であったイベントについては、新型コロナウイルスの影響から参加予定者からのキャンセルが相次いだため中止となった。</p> <p>〔令和元年9月1日開催イベント〕 紙の博物館での紙漉き体験、街角食堂ハラハチでの生姜シロップを使ったカクテル作りと夕食交流を実施。男性9名、女性7名が参加し、1組カップル成立</p> <p>〔11月10日開催イベント〕 木の根ふれあいの森で、遊歩道を活用したバーベキューの食材争奪ゲームを実施。その後、バーベキュー交流を実施。男性10名、女性9名参加し、3組カップル成立</p>						
CHECK:分析	参加者の緊張感を和らげるよう1対1のプロフィールトークをイベント前半で行ったり、参加者全員が交流できるよう席替えも適宜行ったことにより、カップル成立に繋がった。どのイベントも参加申込が多数あったものの、いの町内の方の参加が少なかった。地元開催の出会いイベントへの参加を躊躇してしまうといった傾向がある。						
ACTION:今後の対応	3月7日開催中止となったイベントを、令和2年度に再度開催するとともに、参加対象者を町内在住または勤務者に限定した「出会い」だけを目的としたイベントでなく、まず顔合わせ・交流ができるような気軽に集まれるイベントを企画する。						

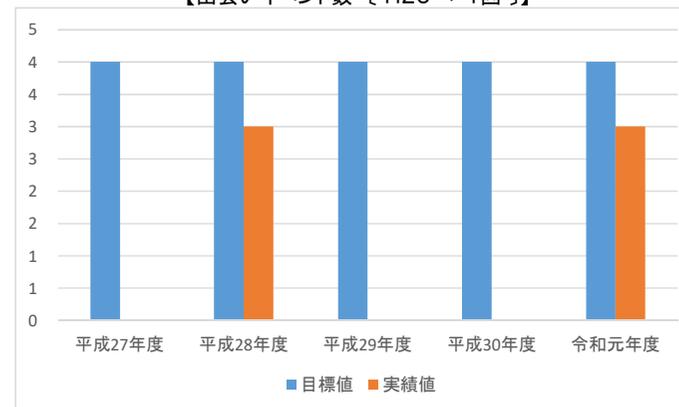
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【出会いイベント数〔H25⇒1回〕】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	△ 目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3 連番 2

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)				
項目	★	子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)	7,100	人(延べ)	6,156	人(延べ)	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	7,100	7,100	7,100	7,100	7,100
実績値	7,051	8,491	6,994	7,497	6,828	6,828
目標に対する達成率	-	120%	99%	106%	96%	96%
基準値に対する増減率	15%	38%	14%	22%	11%	11%
評価	◎	◎	△	◎	△	△
PLAN:取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て世代への支援の充実。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	子育て支援センターへの来訪者数6,828人。 専門職(相談員・保育士)の視点から各種事業を推進し、機能の強化充実を図る。また、母子保健事業との連携により、妊娠期から子育て期までの段階に応じたきめ細やかな支援、助言、指導を行い、地域における子育て世帯の安心感を醸成する取り組みを展開。 ※事業内容:子育て親子の交流の促進・相談援助・子育て関連情報の提供・子育てに関する講習や集いの開催・子育て支援ボランティアの育成等 ※プレママほっとルーム来訪者の内、子育て支援センター登録者は実績値に加算。					
CHECK:分析	町の子育て支援拠点として重要。特に0～2歳の未就園児の家庭を支援する仕組みとして必要な事業である。					
ACTION:今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、母子保健や地域と連携した切れ目のない子育て支援体制の充実を図る。					

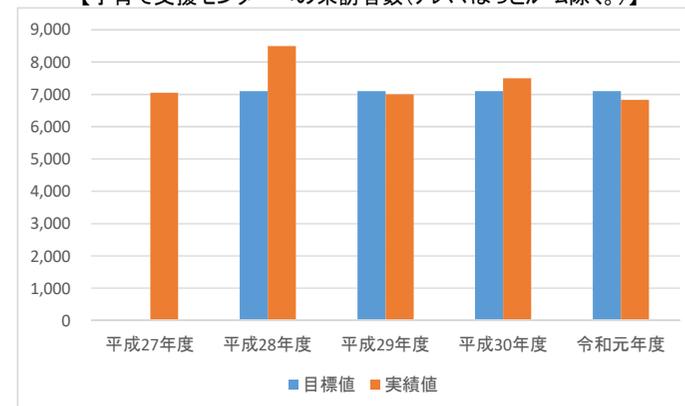
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センターへの来訪者数(プレママほっとルーム除く。)]



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3 連番 3

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 子育て支援センター内プレマほっとルームへの来訪者数				
項目	★	子育て支援センター内プレマほっとルームへの来訪者数				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★子育て支援センター内プレマほっとルームへの来訪者数	40	人(延べ)	H28創設	人(延べ)	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	40	40	40	40	人(延べ)
実績値	0	63	59	207	329	人(延べ)
目標に対する達成率	-	158%	148%	518%	823%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	<p>●妊娠期や産後のストレスを和らげ、赤ちゃんの「心の安全基地づくり」の推進（なないろはあと事業）</p> <p>プレマほっとルームの開設（妊婦さんの居場所）</p> <p>妊娠から子育て期までの段階に応じた、きめ細かな支援、助言、指導を行い、不安感の解消に向けた取り組みを展開していく。</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>329人</p> <p>妊婦や就園前の親子、その家族を対象に、小児科医師や助産師との座談会・ベビーマッサージ・ヨガ等を定期的実施する。妊娠・出産・育児への理解を深めること、より良い親子関係の築き方等、保護者の不安感を和らげる施策を展開。また、プレマほっとルーム利用促進に向け、ポスターの掲示や来訪者への声かけ等で周知を図る。</p>					
CHECK:分析	<p>妊娠期からの支援が重要であり、ニーズに応じた講座や集い内容の充実、母子保健との連携による事業の周知を図ったことによる。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、母子保健や地域と連携した切れ目のない子育て支援体制の充実を図る。</p>					

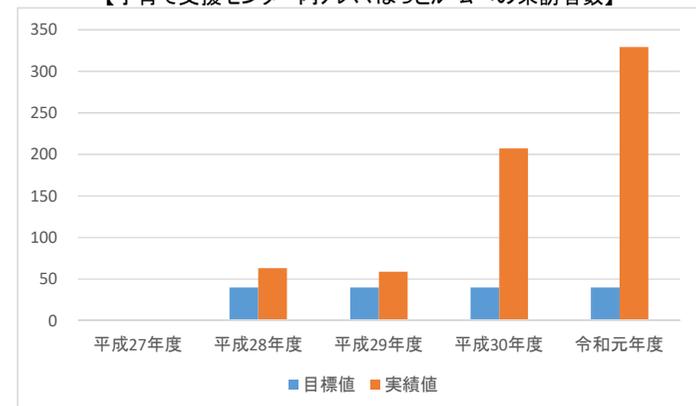
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【子育て支援センター内プレマほっとルームへの来訪者数】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3 連番 5

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 1歳6か月児健診の受診率〔H25⇒87.9%〕				
項目	★	1歳6か月児健診の受診率〔H25⇒87.9%〕				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
ほけん福祉課	★1歳6か月児健診の受診率〔H25⇒87.9%〕	100.0	%	100.0	%	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	全国水準	100.0	100.0	100.0	100.0	%
実績値	98.2	101.6	99.2	98.2	98.4	%
目標に対する達成率	-	102%	99%	98%	98%	単年度目標
基準値に対する増減率	-2%	2%	-1%	-2%	-2%	
評価		◎	○	△	△	
PLAN:取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK:分析	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者には、保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い、受診につなげた。未受診者6名中2名については、令和2年度再勧奨予定、その他3名については法定年齢越え2名、転出1名となったため未受診とするが、現状把握はできている。 ・健診の場では保健師や保育士、言語聴覚士など多職種で親子を観察し、言葉の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。 					
ACTION:今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりをもち、健診受診勧奨、健診時の対応およびフォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。 					

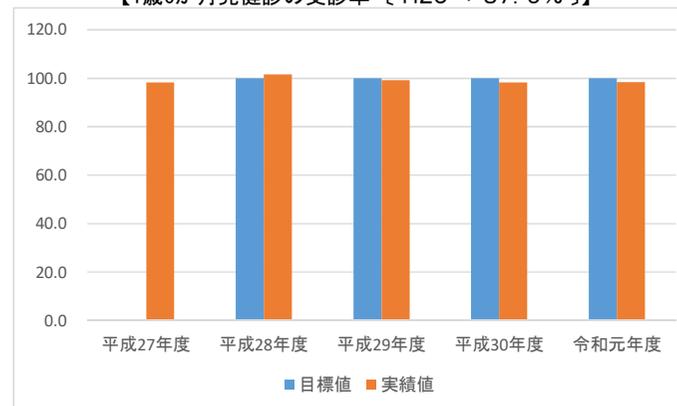
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【1歳6か月児健診の受診率〔H25⇒87.9%〕】



推進委員による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3 連番 6

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 3歳児健診の受診率 [H25 ⇒ 89.8%]				
項目	★	3歳児健診の受診率 [H25 ⇒ 89.8%]				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
ほけん福祉課	★3歳児健診の受診率 [H25 ⇒ 89.8%]	100.0	%	100.0	%	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	全国水準	100.0	100.0	100.0	100.0	%
実績値	98.4	100.0	97.5	100.8	98.1	%
目標に対する達成率	-	100%	98%	101%	98%	単年度目標
基準値に対する増減率	-2%	0%	-3%	1%	-2%	
評価		○	○	◎	△	
PLAN: 取組内容	母子保健事業の充実(乳幼児健診)					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	多職種による乳幼児健診を実施し、乳幼児の発育・発達状況を確認するとともに、育児不安を抱く親を把握し、助言を行いながら個々の子育て家庭に寄り添った支援を実施した。					
CHECK: 分析	<ul style="list-style-type: none"> ・健診未受診者には、保健師の訪問等により児の状態を確認するとともに、健診受診勧奨を行い、受診につなげた。未受診者7名中5名については、令和2年度再勧奨予定、その他2名は法定年齢越えとなったため未受診とするが、現状把握できている。 ・健診の場では保健師や保育士、言語聴覚士など多職種で親子を観察し、言葉の相談や保健指導を実施。対象児の半数以上が何らかのフォローが必要となっており、親カウンセリング事業、言語聴覚士の個別相談、園訪問等で継続対応している。 					
ACTION: 今後の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て世代包括支援センターの母子保健コーディネーターと地区担当保健師が連携しながら、妊娠期から継続した関わりをもち、健診受診勧奨、健診時の対応およびフォローを行うなど切れ目のない支援を実施していく。 					

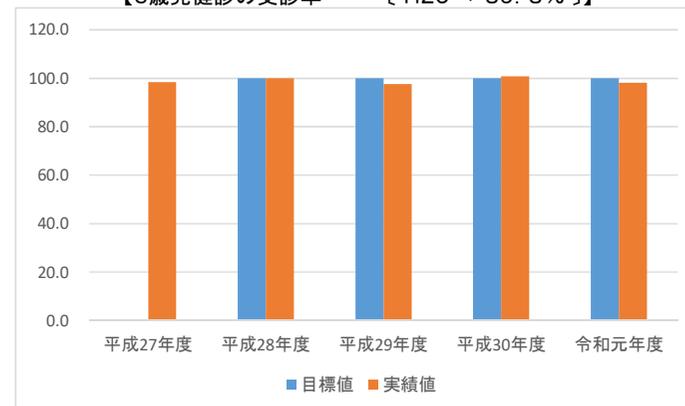
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【3歳児健診の受診率 [H25 ⇒ 89.8%]】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

7

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)				
項目	★	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	*児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)		1,545	件以下(年平均)	1,545	件以下(年平均)
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	1,545	1,545	1,545	1,545	件以下(年平均)
実績値	0	1,433	1,881	1,272	1,384	件以下(年平均)
目標に対する達成率	-	93%	122%	82%	90%	単年度目標
基準値に対する増減率	-100%	-7%	22%	-18%	-10%	
評価		◎	△	◎	◎	
PLAN:取組内容	児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。) 相談支援体制の充実及び多職種、多機関との連携による課題への対応。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	1,384件 厳しい環境にある子供たちや保護者等に対して、少年安全対策係による児童虐待対応、個別相談援助などの支援を実施した。					
CHECK:分析	相談体制の充実とリスクに応じた適切な対応ができる体制の整備が必要な事業である。					
ACTION:今後の対応	引き続き、教育・保健・福祉の円滑な連携、協力を確保して切れ目のない相談支援体制を推進する。					

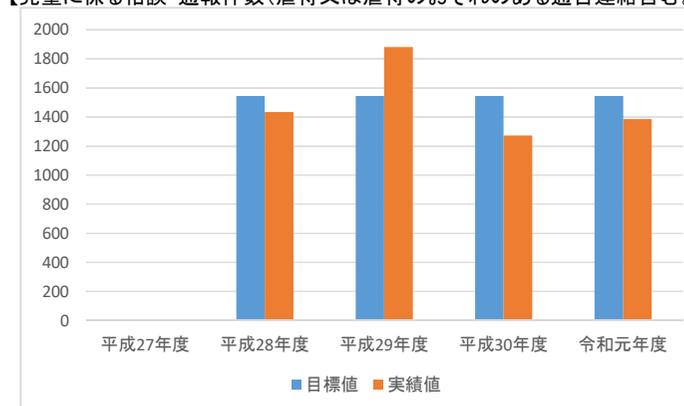
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【児童に係る相談・通報件数(虐待又は虐待のおそれのある通告連絡含む。)



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

8

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築
項目	★	延長保育（開所時間が11時間を超える保育所等）の実施

担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★延長保育（開所時間が11時間を超える保育所等）の実施		3	カ所以上	1	カ所以上
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	1	1	2	3	3	カ所以上
実績値	1	2	3	3	3	カ所以上
目標に対する達成率	100%	200%	150%	100%	100%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	100%	200%	200%	200%	
評価	○	◎	◎	○	○	

PLAN:取組内容	延長保育（開所時間が11時間を超える保育所等）の実施
DO:実績 (事業内容等を記載)	伊野・あいの・神谷保育園において実施
CHECK:分析	延長保育実施により、保護者の就労状況に沿った保育園での受け入れを行い、子育て支援の充実を図った。
ACTION:今後の対応	保護者のニーズ及び提供体制により実施を検討する。

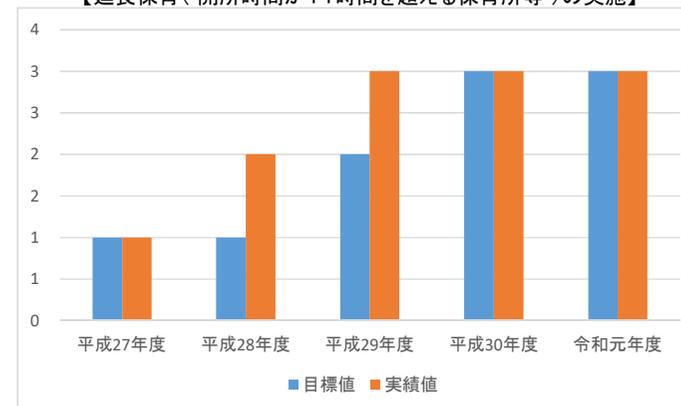
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【延長保育（開所時間が11時間を超える保育所等）の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

9

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する					
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進					
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築					
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 乳児保育の実施					
項目	★	乳児保育の実施					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度		
	令和元年度				実績等		
教育委員会事務局	★乳児保育の実施	6	カ所以上	4	カ所以上		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値		4	4	5	6	6	カ所以上
実績値		4	5	5	6	6	カ所以上
目標に対する達成率		100%	125%	100%	100%	100%	複数年度 目標
基準値に対する増減率		0%	25%	25%	50%	50%	
評価		○	◎	○	○	○	
PLAN:取組内容	乳児保育の実施						
DO:実績 (事業内容等を記載)	枝川・天神・吾北・神谷・伊野・あいの各保育園において実施						
CHECK:分析	共働き世帯の増加により、乳児保育ニーズが高まっており、引き続き乳児保育を実施し、受け入れ体制の充実を図った。						
ACTION:今後の対応	引き続き、保護者のニーズに沿った支援体制を検討する。						

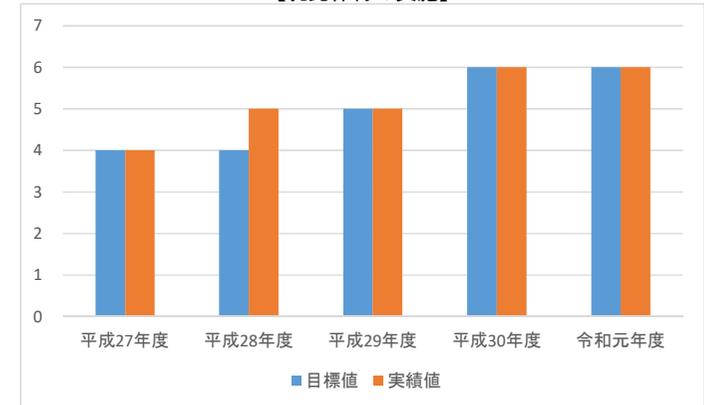
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【乳児保育の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3 連番 10

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 一時預かり事業				
項目	★	一時預かり事業				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★一時預かり事業	2	カ所以上	1	カ所以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	1	1	1	1	2	カ所以上
実績値	1	1	1	1	2	カ所以上
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	100%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	0%	100%	
評価	○	○	○	○	○	
PLAN:取組内容	一時預かり事業					
DO:実績 (事業内容等を記載)	あいの保育園、認定子ども園えだがわにおいて実施					
CHECK:分析	一時的に家庭での保育が困難となる場合や保護者の育児疲れ等により一時預かり事業の利用ニーズが高まっていることから、令和元年度より認定子ども園えだがわにおいて事業を開始し、受け入れ体制の拡充を図った。					
ACTION:今後の対応	月により利用者の変動はあるが、受け入れ可能児童数をやや下回っており、現箇所での実施を継続して行う。					

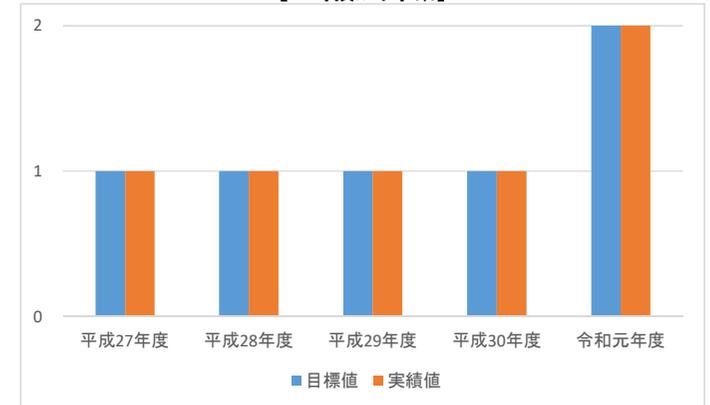
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【一時預かり事業】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

11

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	②	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 地域子育て支援拠点事業の実施				
項目	★	地域子育て支援拠点事業の実施				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★地域子育て支援拠点事業の実施	1	カ所以上	1	カ所以上	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		1	1	1	1	1
実績値		1	1	1	1	1
目標に対する達成率		100%	100%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率		0%	0%	0%	0%	0%
評価		○	○	○	○	○
PLAN:取組内容	地域子育て支援拠点事業 妊娠期から子育て世代への支援の充実。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	地域子育て支援拠点として、「ぐりぐらひろば」1カ所をいの町総合健康センターに開設。 相談員・保育士を配置し、妊娠期から子育て期までの段階に応じた、きめ細やかな支援、助言、指導を行うことにより、地域における子育て世帯の安心感を醸成する取り組みを展開。 ※事業内容:子育て親子の交流の促進・相談援助・子育て関連情報の提供・子育てに関する講習や集いの開催・子育て支援ボランティアの育成等					
CHECK:分析	町の子育て支援推進事業として重要な拠点。特に0～2歳の未就園児の家庭を支援する仕組みとして必要な事業である。					
ACTION:今後の対応	引き続き、妊娠期から子育て期までの包括的な支援を目指して、母子保健や地域と連携した切れ目のない子育て支援体制の充実を図る。					

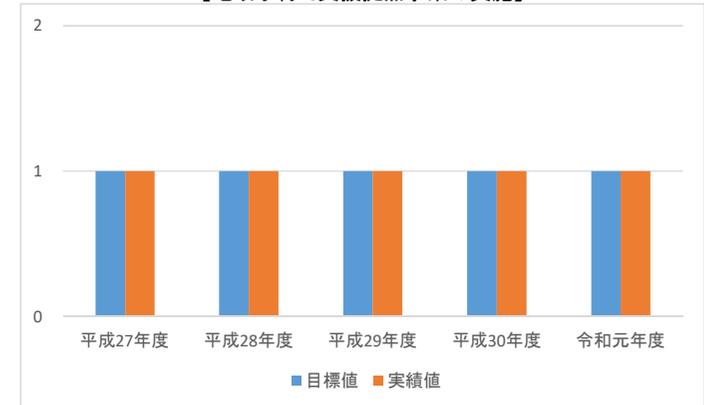
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【地域子育て支援拠点事業の実施】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

12

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 放課後児童クラブへの主任支援員配置				
項目	★	放課後児童クラブへの主任支援員配置				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★放課後児童クラブへの主任支援員配置	2	名以上	0	名以上	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		0	2	2	2	2
実績値		0	2	2	2	2
目標に対する達成率		-	100%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率		0%	200%	200%	200%	200%
評価		○	○	○	○	○
PLAN: 取組内容	平成31年度までの間 児童クラブへ主任支援員を2名以上配置					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	伊野小学校ひまわり児童会と枝川小学校さくらんぼ児童会に1名ずつ配置できた。					
CHECK: 分析	実績のとおり、2名の主任支援員を配置することができた。また、平成29年度から主任配置児童クラブにはパソコンを整備し、昨年と同様に児童クラブに係る簡易な事務処理は各現場で行えるようになっていた。(保護者へ配布のおたよりなどの決裁は教育委員会事務局)					
ACTION: 今後の対応	今後においても継続して主任支援員を配置し、児童会全体の把握に努め、支援員間の中心的な立場として情報を共有するとともに、学校及び教育委員会事務局間の連絡調整を行い連携をより強めていく。					

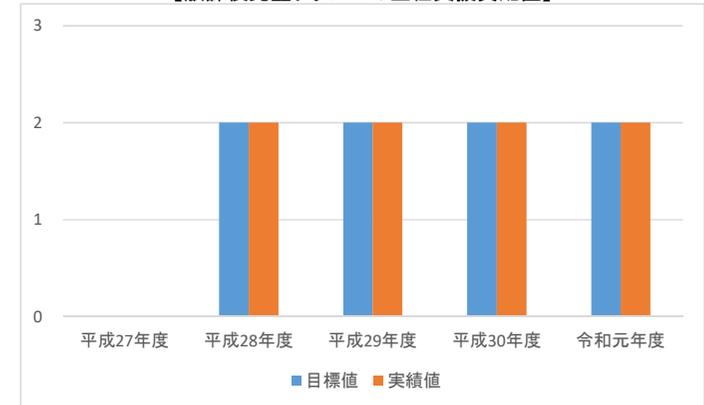
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後児童クラブへの主任支援員配置】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

13

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(イ)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 放課後子ども教室活動週2回以上開設か所				
項目	★	放課後子ども教室活動週2回以上開設か所				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
教育委員会事務局	★放課後子ども教室活動週2回以上開設か所	5	か所	0	か所	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	0	3	3	5	5	か所
実績値	0	5	5	5	5	か所
目標に対する達成率	-	167%	167%	100%	100%	複数年度 目標
基準値に対する増減率	0%	500%	500%	500%	500%	
評価		◎	◎	○	○	
PLAN:取組内容	平成31年度までの間 週2回以上開設箇所5箇所以上					
DO:実績 (事業内容等を記載)	枝川小学校放課後子ども教室・伊野南小学校放課後子ども教室・伊野小学校放課後子ども教室・神谷小学校放課後子ども教室・長沢小学校放課後子ども教室において週2回以上の開設を行った。					
CHECK:分析	実績のとおり、5か所において週2回以上の開設を行い、放課後における学習活動等の充実を図ることができた。					
ACTION:今後の対応	今後においても継続して放課後学習活動の充実を図っていく。					

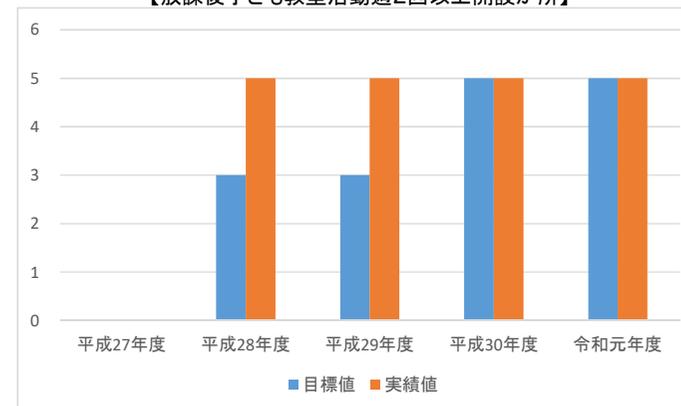
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【放課後子ども教室活動週2回以上開設か所】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

14

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てができる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 4か月健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
図書館	★4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率	90.0	%以上	H27創設	%以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	70.0	90.0	90.0	90.0	%以上
実績値	0.0	99.2	93.5	98.3	97.6	%以上
目標に対する達成率	-	142%	104%	109%	108%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	◎	◎	
PLAN:取組内容	<p>■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>プレママほっとルームへの配本 4か月健診時「ブックスタート事業」 町内乳幼児健診会場訪問(読み聞かせや読書案内) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会・読書相談・絵本紹介) 町内小中学校図書室支援</p>					
CHECK:分析	<p>令和元年度に、いの町で4か月児健診を受診した乳児の保護者84名を対象に、7か月児健診時に実施した「アンケート」において、ブックスタートを受けて「楽しかった(64.3%)・絵本がもらえてうれしかった(46.4%)【複数回答可】と肯定的な回答が半数程度得られた。また配布した絵本を「よく読んでいる」55.95%・「何度か読んだ」41.67%と半数以上の家庭で配布した絵本を活用した読み聞かせが行われているという結果となった。ブックスタート後に図書館を利用した人は40.5%と前年度より8.3%増加した。図書館をまだ利用したことのない人のうち「行ってみたい」と答えた人の割合も79.6%で前年度より5.8%増加している。これらのことからブックスタート直後の効果として保護者の絵本への興味関心が喚起され、家庭での読み聞かせが実践されていると同時に、。図書館の利用については2年連続増加傾向にあり、この取り組みが浸透し保護者の図書館への関心が高まっていることがわかる。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>読書習慣の形成と確立を促進するためには、読み聞かせを始めるきっかけとして定着しつつあるブックスタートを継続すると同時に、妊娠期の保護者自身への読書推進や、ブックスタート以降の継続的な読書支援が不可欠と考える。保護者が本を通して楽しい子育てができるよう、またいの町に生まれ育つ子ども達が読書を通して豊かな心を育めるよう、引き続き切れ目のない読書支援を行う。</p>					

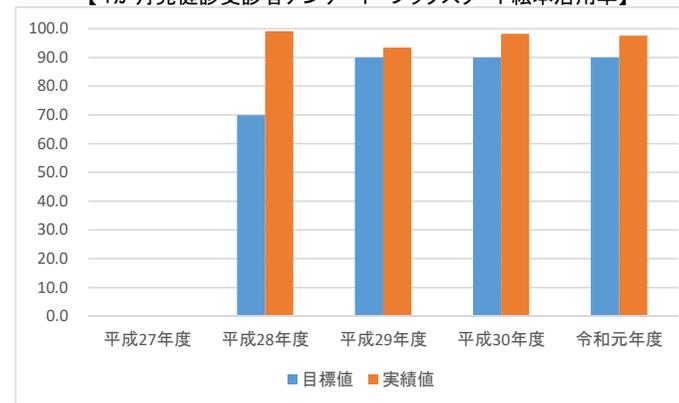
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート ブックスタート絵本活用率】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標3

連番

15

基本目標	3	若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる、女性の活躍の場を拡大する				
基本的方向	(1)	誰もが希望の時期に子どもを産み育てやすい環境づくりの推進				
具体的な施策	(ア)	安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会の構築				
	(2)	妊娠・出産・子育て期に応じた切れ目のない支援の推進 4か月健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つ				
項目	★	4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つ				
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
図書館	★4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つ					
		100.0	%以上	H27創設	%以上	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	-	80.0	90.0	100.0	100.0	%以上
実績値	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	%以上
目標に対する達成率	-	125%	111%	100%	100%	単年度目標
基準値に対する増減率	-	-	-	-	-	
評価		◎	◎	○	○	
PLAN:取組内容	<p>■ 妊婦、乳幼児親子への読み聞かせや本との出会い事業の推進 (心をそだてる人財育成推進事業)</p>					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>プレママはっとルームへの配本 4か月健診時「ブックスタート事業」 町内乳幼児健診会場訪問(読み聞かせや読書案内) ぐりぐらひろば訪問(おはなし会・読書相談・絵本紹介) 町内小中学校図書室支援</p>					
CHECK:分析	<p>令和元年度に、いの町で4か月児健診を受診した乳児の保護者84名を対象に、7か月児健診時に実施した「アンケート」において、「絵本が赤ちゃんとのふれあいに役立つと思いますか」という設問に対して100%の保護者が「はい」と回答している。また「読み聞かせをしているとき、お母さん(お父さん)はどのような気持ち・状況ですか?【複数回答可】」に対しては、「子どもの成長や表情を感じられる」60.7%、「楽しいと感じる」42.9%と肯定的な回答が多かった。配布された絵本を活用し、親子のふれあいの時間が生まれ、それによって保護者が子育てを楽しんでいると感じたり、子供の成長を喜ぶ機会を得ていることは大変意義深い。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>読書習慣の形成と確立を促進するためには、読み聞かせを始めるきっかけとして定着しつつあるブックスタートを継続すると同時に、妊娠期の保護者自身への読書推進や、ブックスタート以降の継続的な読書支援が不可欠と考える。今後も保護者が本を通じた楽しい子育てができるよう、またいの町に生まれ育つ子ども達が読書を通して豊かな心を育めるよう、引き続き切れ目のない読書支援を行う。</p>					

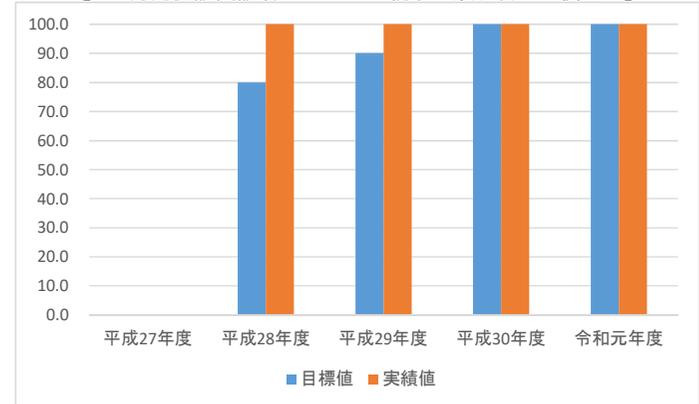
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【4か月児健診受診者アンケート 親子の触れ合いに役立つ】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

総合戦略効果検証シート 基本目標4

基本目標4. コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々の暮らしを守る【中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援】

番号	具体的な施策(詳細)	H26基準実績等	単位	H27目標	H27実績	H28目標	H28実績	H29目標	H29実績	H30目標	H30実績	R元年度目標値	R元年度実績値	総合評価
1	集落活動センターの開設	1	か所	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	△
2	あったかふれあいセンター等の整備 拠点	1	か所	-	1	1	1	1	1	2	2	2	2	○
3	あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	2	か所	-	2	2	2	2	2	3	3	3	3	○
4	本川地区内の路線バス維持に向けた雇用	0	人	2	2	2	1	3	1	3	5	3	5	◎

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

1

基本目標	4	コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々に暮らしを守る				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
項目	①	小さな拠点の開設・強化 集落活動センターの開設				
担当課	★	集落活動センターの開設				
重要業績評価指標(KPI)	令和元年度				基準値:平成26年度	
	実績等				実績等	
総合政策課・吾北産業課・本川産業建設課	★集落活動センターの開設	3	か所	1	か所	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	2	2	2	2	3	か所
実績値	2	2	2	2	2	か所
目標に対する達成率	100%	100%	100%	100%	67%	複数年度目標
基準値に対する増減率	100%	100%	100%	100%	100%	
評価	○	○	○	○	△	
PLAN:取組内容	中山間地域の維持・創生に向け、小さな拠点として「集落活動センター(地域の支え合いや活性化の拠点)の整備促進や小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図るとともに、地域の資源や特性を活かした産業づくり支援を促進する。					
DO:実績 (事業内容等を記載)	<p>【柳野】 次年度から本格的に取り組むイタダリの加工販売に向けて、県の事業を活用し冷凍庫等の備品を整備した。また、新たにイタドリ班を立ち上げて体制を強化した。</p> <p>【氷室の里】 原木まいたけ、乾燥まいたけ、生きくらげ、乾燥きくらげ等の販売を行った。主な販促活動として、高知市の金高堂や日曜市での販売など計6日間行った。</p>					
CHECK:分析	<p>【柳野】 直売施設の運営、配食サービス、イタダリの栽培、イベントの開催等に取り組んでおり、施設・環境を十分に活用した取り組みがなされている。</p> <p>【氷室の里】 今年度、新たな取り組みとして商品の価格見直しや販売店の拡充、ふるさと納税の返礼品、イベント参加等まいたけを中心に売上の増加を目指し、その結果売上向上につながった。</p>					
ACTION:今後の対応	<p>【柳野】 イタダリの栽培・加工・販売を軌道に乗せるため関係機関と連携し支援していく。</p> <p>【氷室の里】 「まいたけ」を中心とする「きのこ」の生産、販売、流通体制を確立し、「きのこの里」として当該地域が広く認知されることを目指す。定期的な集いの開催やイベント参加・出店・試食販売、営業先の開拓や本川じゃがいもの栽培・販売をおこなう。</p>					

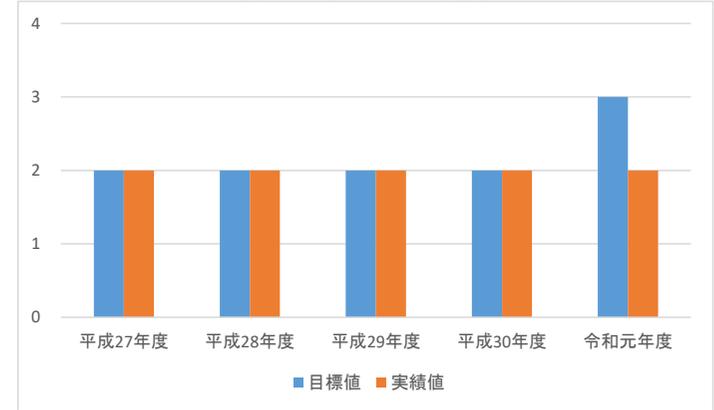
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【集落活動センターの開設】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値未満

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4 連番 2

基本目標	4 コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々に暮らしを守る				
基本的方向	(1) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア) 中山間地域の維持・創生				
	① 小さな拠点の開設・強化 あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
項目	★ あったかふれあいセンター等の整備 拠点				
担当課	重要業績評価指標 (KPI)				基準値:平成26年度
	令和元年度				実績等
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 拠点	2	か所	1	か所
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	1	1	2	2
実績値	1	1	1	2	2
目標に対する達成率	-	100%	100%	100%	100%
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	100%	100%
評価	○	○	○	○	○
PLAN: 取組内容	<p>あったかふれあいセンターの整備・機能強化(あったかふれあいセンター事業)</p> <p>★ 小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図る。また、新たな介護予防サービスの提供拠点として、あったかふれあいセンター等を活用する取り組みを支援する。</p> <p>あったかふれあいセンター等の整備(平成26年度 拠点1か所・サテライト2か所) :平成31年度まで継続させる。</p>				
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>「集い」、「送迎」、「働く支援」、「訪問」、「生活支援」、「相談」、「つなぎ」、「交わる」、「学ぶ」、「地域支援」について、各事業を実施。なお、集いについては付随する送迎を元年度より開始。</p> <p>実施場所:【伊野】すこやかセンター伊野内1階 【吾北】山村開発センター2階 実施日時:月～金曜日(祝日除く) 9:00～17:00</p> <p><継続事業>健康・生きがいづくり活動 ・地域包括支援センターと連携した地域づくり活動の推進 ・地域活動団体の情報交換の場の提供と支援 ・ボランティアセンターの整備 ・利用者やボランティアを対象とした学習会の開催 ・町内小学校との連携や夏休み期間の子どもの集いの開催 ・災害時要配慮者支援事業の訪問活動の実施 ・「集い」の広報、周知活動の実施 ・必要に応じてケースごとに関係機関へのつなぎの実施 ・各種研修会への参加</p> <p><新規事業> ・認知症カフェの開始(伊野) ・男性の集い(伊野)</p>				
CHECK: 分析	<p>集いに関しては全曜日において送迎を行うようになった結果、利用者数が大幅に増えた。また、新たに認知症カフェや男性の集いが開始されるなど様々な事業が展開されたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、こうした活動が3月は休止となった。2年度以降もこのような活動に制限がかかる可能性が高いが、町とあったかふれあいセンターとの定期的な打ち合わせにより、利用者の心身の健康の増進や職員の資質向上のため、最大限できることを遂行する。</p>				
ACTION: 今後の対応	<p>コロナウイルス感染症拡大防止策を留意しながら、制限があるなかでも以下のことについては、重点的に取り組む。</p> <p>①<地域支援>関係機関と連携を図りながら、小地域活動を推進する。 ②<担い手づくりの強化>ボランティアセンターの整備(個人・団体の管理、活動内容の把握)や情報発信を行う。 ③<集い>世代間交流等の実施により、多世代の利用者を増やす。子供の居場所を提供する。 ④<訪問>関係機関と連携を図りながら、見守り訪問を強化する。</p>				

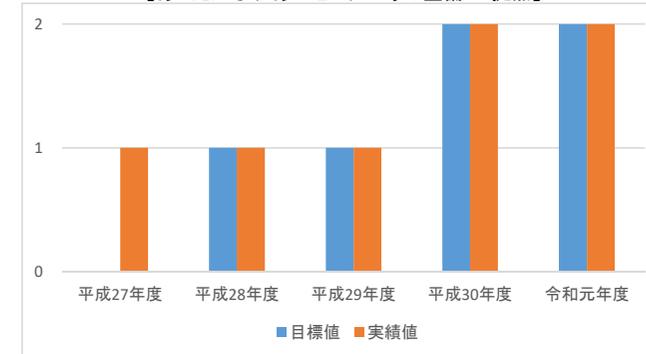
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 拠点】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

3

基本目標	4	コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々に暮らしを守る				
基本的方向	(1)	中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援				
具体的な施策	(ア)	中山間地域の維持・創生				
項目	★	小さな拠点の開設・強化 あったかふれあいセンター等の整備 サテライト				
担当課		重要業績評価指標 (KPI)			基準値:平成26年度	
		令和元年度			実績等	
ほけん福祉課	★あったかふれあいセンター等の整備 サテライト	3	か所	2	か所	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値	-	2	2	3	3	か所
実績値	2	2	2	3	3	か所
目標に対する達成率	-	100%	100%	100%	100%	複数年度
基準値に対する増減率	0%	0%	0%	50%	50%	目標
評価		○	○	○	○	
PLAN: 取組内容	<p>あったかふれあいセンターの整備・機能強化(あったかふれあいセンター事業)</p> <p>★ 小規模で多機能な高知型福祉の支援拠点として、あったかふれあいセンターの整備・機能強化を図る。また、新たな介護予防サービスの提供拠点として、あったかふれあいセンター等を活用する取り組みを支援する。</p> <p>あったかふれあいセンター等の整備(平成26年度 拠点1か所・サテライト2か所) :平成31年度まで継続させる。</p>					
DO: 実績 (事業内容等を記載)	<p>「集い」「訪問」「相談」「つなぎ」「生活支援」「交わる」について、各事業を実施。集いの場へ自力で参加できない利用者については送迎を行った。</p> <p>【サテライト清水】 実施場所:清水公民館/日時:毎月第1・3火曜日 11:30~16:00 開催回数:21回</p> <p>【サテライト下八川】 実施場所:下八川公民館/日時:毎月第2木曜日 13:30~15:30 開催回数:11回</p> <p>【サテライト三水】 実施場所:三水防災コミュニティ/日時:第4木曜日10:00~12:00 開催回数:10回</p>					
CHECK: 分析	<p>平成30年度内に目標であった3会場でのサテライト事業が実施できたことにより、引き続き吾北地区のより広い地域の利用者を迎えることができた。事業の実施にあたっては広報誌等により周知を行うとともに、把握している地域ニーズを活用し、吾北拠点とも連携して参加者の増加を図る。なお、高齢化率の高い中山間地域におけるサテライトであることを踏まえた活動の展開が必要である。</p>					
ACTION: 今後の対応	<p>吾北地区における3地区の特性を把握したうえで、サテライトならではの様々な課題に対応できる活動を目指す。特に過疎化が進む地区では高齢者の集いのみならず、子どもの集いをサテライトで同時開催し、世代間交流するなどして高齢者が孤立しないような活動を行っていく。</p>					

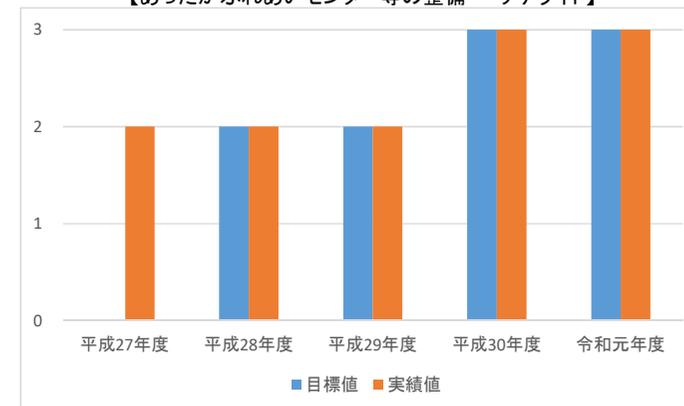
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【あったかふれあいセンター等の整備 サテライト】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	○ 目標値と同等

効果検証・評価結果

総合戦略効果検証シート

基本目標4

連番

4

基本目標	4 コンパクトな中心部と小さな拠点との連携により人々に暮らしを守る					
基本的方向	(1) 中山間地域の小さな拠点「集落活動センター」の整備促進、地域の資源や特性を生かした産業づくり支援、生活支援					
具体的な施策	(ア) 中山間地域の維持・創生					
	② 中山間地域の資源や特性を生かした産業づくりの支援 本川地区内の路線バス維持に向けた雇用					
項目	★ 本川地区内の路線バス維持に向けた雇用					
担当課	重要業績評価指標(KPI)				基準値:平成26年度	
	令和元年度				実績等	
本川住民福祉課	★本川地区内の路線バス維持に向けた雇用	3	人	0	人	
	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位
目標値	2	2	3	3	3	人
実績値	2	1	1	5	5	人
目標に対する達成率	100%	50%	33%	167%	167%	単年度目標
基準値に対する増減率	200%	100%	100%	500%	500%	
評価	○	△	△	◎	◎	
PLAN:取組内容	市町村有償運送事業(長沢～越裏門・寺川間)					
DO:実績 (事業内容等を記載)	常時5名(延べ6名の雇用)のシフト体制により、円滑なバス運行がなされた。					
CHECK:分析	地域住民にとってバス路線の存在は、単なる移動手段にとどまらず、地域の存在意義にも等しく考えられているため、有償運送事業による路線バスの維持については非常に大きな事案である。 また、バス運転手の雇用により、居住者の定着につなげ、ひいては地域の活性化に寄与出来るものである。					
ACTION:今後の対応	高齢化により運転が困難になったり、運転免許証を自主返納される方も増加するなか、受け皿となる交通手段として有償運送事業を継続し、今後も本川地区全体を見据えた公共交通のあり方を探っていく。					

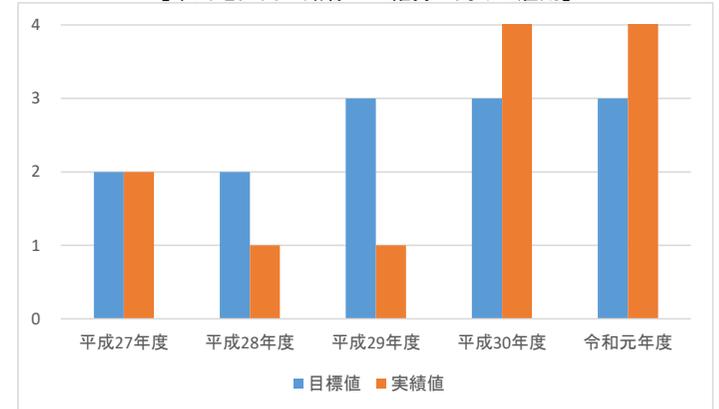
評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

総合評価項目

◎	目標値以上
○	目標値と同等
△	目標値未満
×	進捗なしor事業終了

【本川地区内の路線バス維持に向けた雇用】



推進委員会による検証評価(意見等)

意見	特になし
総合評価	目標値以上